



小学校2年

教科	活用場面	番号・活用シート名	領域番号	基になった活用シート名	市町村	学校
国語	朝学習	①時間やしゅんじょをあらわすことば	読1	時間やしゅんじょを表すことばを見つけよう	枚方市	香陽小学校
国語	授業	②しつもんじょうずになろう	話聞5	質問じょうずになろう	富田林市	寺池台小学校
国語	授業	③宝物を紹介しよう	話聞3	たからものをしょうかいしよう	岸和田市	常盤小学校
国語	授業	④昔話をまとめよう	読4	おはなしをまとめよう	岸和田市	常盤小学校
国語	授業 家庭学習	⑤物語を作ってみよう	書2③	物語を作ってみよう	池田市	緑丘小学校
国語	聞き取りテスト	⑥たいせつなことを聞こう	話聞8	お話を聞いて大切なことをメモしよう	吹田市	千里第二小学校
国語	授業	⑦物語を作ってみよう	書2③	物語を作ってみよう	島本町	第一小学校
国語	授業	⑧しかけカードの作り方	書2②	しゅんじょよく書こう	守口市	下島小学校
生活	授業	⑨よりよい話し合いをしよう	話聞3	たからものをしょうかいしよう	大東市	北条小学校
国語	授業	⑩物語を作ってみよう	書2③	物語を作ってみよう	八尾市	志紀小学校
国語	授業	⑪同じ作者の本を読もう	読6	同じ作者の本を読もう	富田林市	久野喜台小学校
国語	授業	⑫お話のあらすじをしょうかいしよう	読9	お話を一文で表現しよう	藤井寺市	道明寺南小学校
国語	授業	⑬時間やしゅんじょを表すことばを見つけよう	読1	時間やしゅんじょを表すことばを見つけよう	藤井寺市	藤井寺北小学校
国語	朝学習	⑭文を作ろう	書1①	ぶんをつくろう	藤井寺市	藤井寺小学校
国語	家庭学習	⑮ぶんをつくろう だれがなにをしているか書こう	書1 ①②	・ぶんをつくろう ・だれがなにをしているか書こう	大阪狭山市	南第三小学校
国語	授業	⑯大切なことを、数えながら聞く。	話聞4	だいじなお話はいくつ?	太子町	磯長小学校
国語	授業	⑰ひみつのマークあてゲーム	話聞2	ひみつのマークあてゲーム	河南町	近つ飛鳥小学校
国語	授業	⑱だいじなお話はいくつ?	話聞4	だいじなお話はいくつ?	千早赤阪村	赤坂小学校
国語	授業	⑲しゅんじょをあらわすことばをみつけよう	読1	時間やしゅんじょを表すことばを見つけよう	泉大津市	旭小学校
国語	授業	⑳お話を一文で表現しよう	読9	お話を一文で表現しよう	忠岡町	東忠岡小学校
国語	授業	㉑わたしは作家さん	書6	わたしは作家さん	忠岡町	東忠岡小学校
国語	授業	㉒見たまま作文	書2①	見たまま作文	泉佐野市	末広小学校
国語	授業	㉓「見たまま作文」	書2①	見たまま作文	泉南市	鳴滝小学校
国語	授業	㉔原稿用紙のつかい方	書3	げんこうようしのつかいかた	箕面市	豊川南小学校
国語	授業	㉕見たまま作文	書2①	見たまま作文	岸和田市	大芝小学校
国語	授業	㉖ぶんをつくろう	書1①	ぶんをつくろう	阪南市	朝日小学校

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【枚方市立香陽小学校】

活用シート名	①時間やじゅんじょをあらわすことば			基になった活用シート名	読1 時間やじゅんじょを表すことばを見つけよう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	6月
活用場面	朝学習			配当時間	15分
目標	時間やじゅんじょを表す言葉に注目し、適切に使うことができるようになる。				

活用シート

工夫した点

●朝学習で使用するため、どの児童も取り組みやすい内容に変更した。

●じゅんじょをあらわす言葉を見つけるだけでなく、自分で適切な言葉を選び使えるよう、書き問題を加えた。

成果や改善点

- 無理なく、自分の力で取り組めた。
- 「二」の問題は、いろいろな答えが出たので、共有することで広がりが見られた。
- 「二」の問題の書くスペースが小さかった。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）


「二」の解答例

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【富田林市立寺池台小学校】

活用シート名	②しつもんじょうずになろう			基になった活用シート名	話聞5 質問じょうずになろう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	7月
活用場面	授業			配当時間	45分

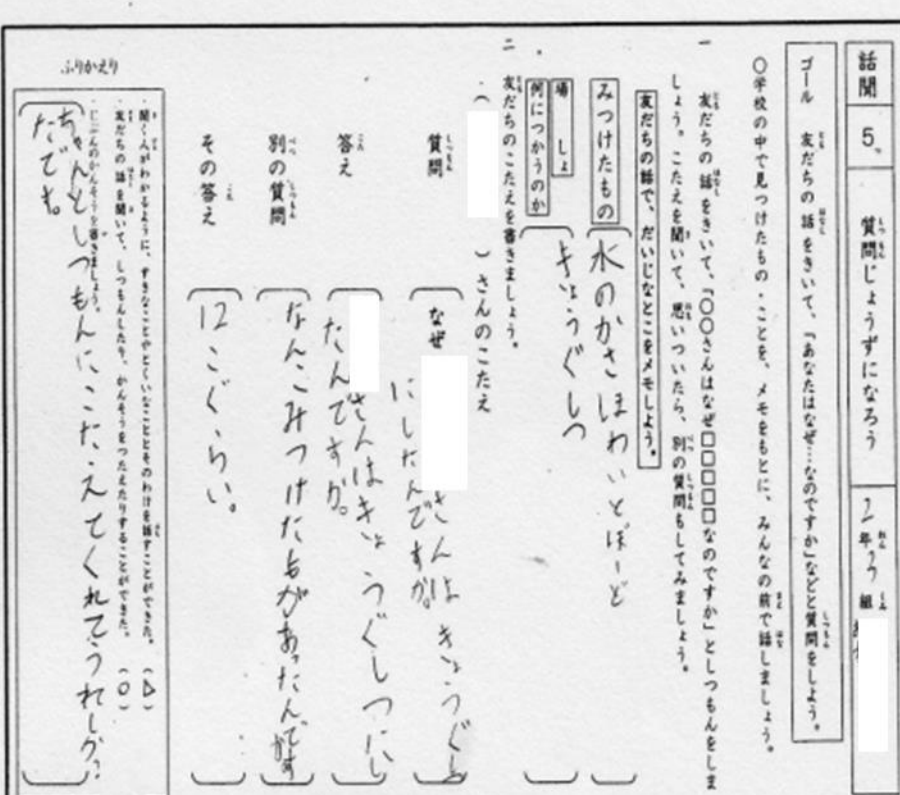
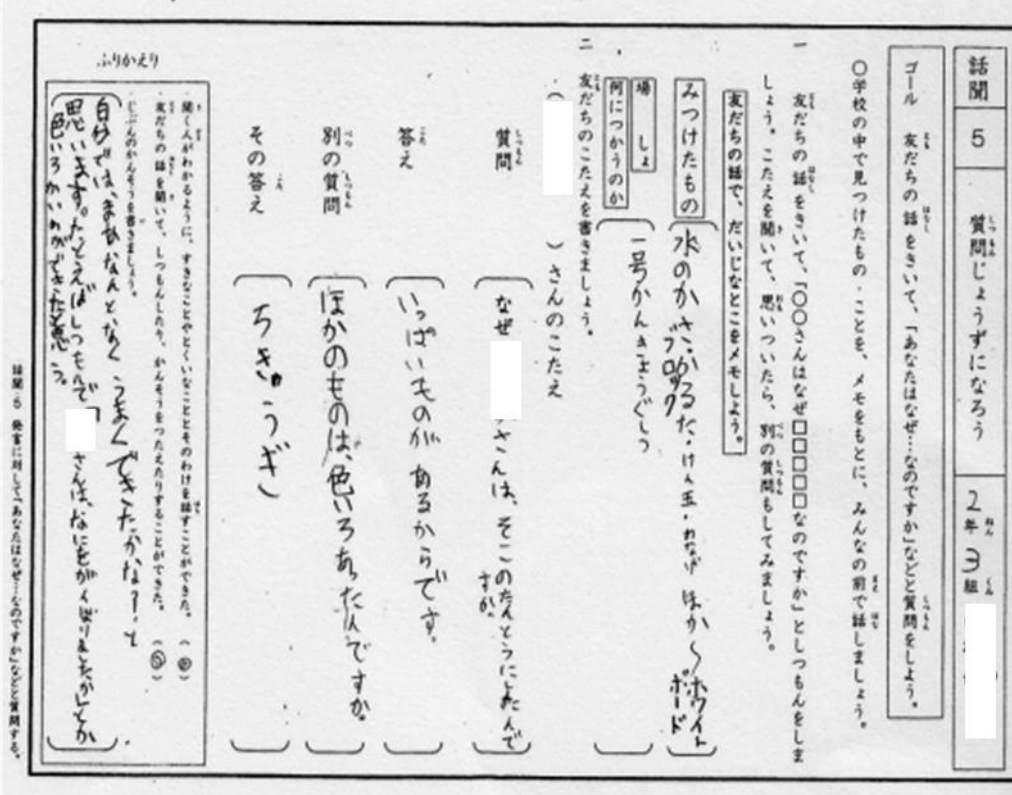
目標 友達の話を聞いて、「あなたはなぜ・・・なのですか」などと質問をしよう

活用シート		<ul style="list-style-type: none"> ●「こんなもの見つけたよ」で自分が見つけた学校のひみつをしようかいる文章を書き、それをスピーチした。 ●書く際に観点を提示し「はじめ」「なか」「おわり」に分けて書いた。 ●発表者のスピーチ原稿は200～400字程度で別紙に書いた。 ●質問するのが難しい子のために、どんな質問があるか、具体例を提示して質問タイムに入った。
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーチも1回目で観点をおさえ、2回目で質問を考えるとという段階を踏んだ。 	

成果や改善点

- 質問が多く出たが、書くことに必死で話せない子が多かったので、「書く→話す」と「話す→書く」の両方を上手く使い分ける手立ても必要だった。
- 質問に「5W1H」を使っている子が多かった。
- 質問→答え→質問→答え→感想、という2ラリー半ができている子が多く見られた。
- 他の子の質問の流れから自分の質問につなげている子も多く見られ、「聞く力」が育っていると感じた。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

	
--	---

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【岸和田市立常盤小学校】

活用シート名	③宝物を紹介しよう			基になった活用シート名	話聞3 たからものをしょうかいしよう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	随時
活用場面	授業			配当時間	45分

目標 自分の大切なものを文にまとめ、発表できる。友達の考えを聞き、自分の考えとの違いがわかる。

活用シート

・

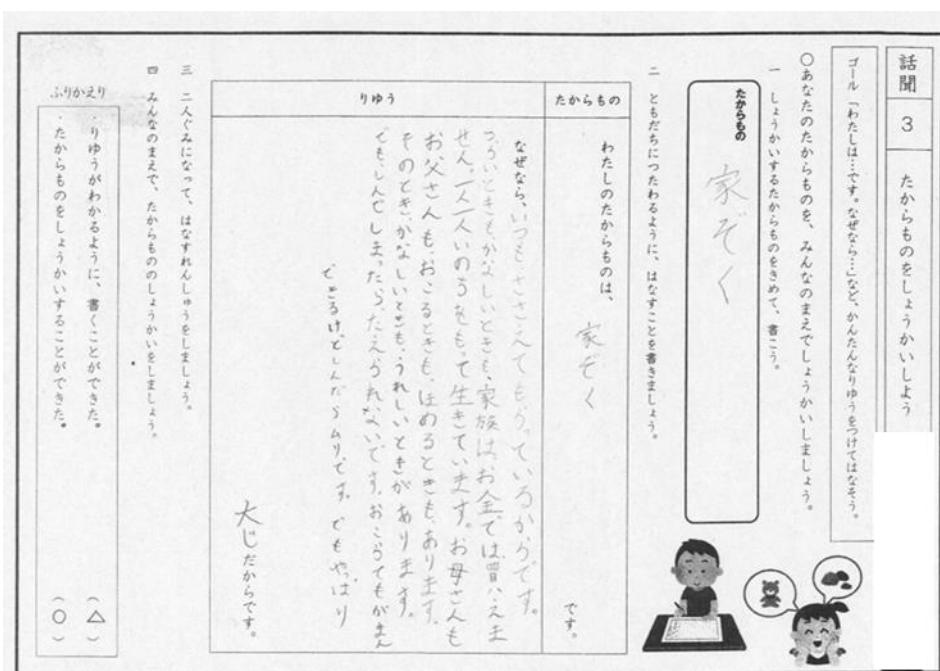
工夫した点

- 原版を先のように改良した。
- 自分の考えをたくさん書けるように理由の枠を広くし、原版にあった「友達からのアドバイス」や「気づいたこと」を省いた。

成果や改善点

- 子ども達が考えている宝物は大きく2種類に分けられる。1つは物である。ゲームソフトやぬいぐるみなど、親や祖父母から誕生日や記念日のプレゼントに買ってもらったものようだ。もう1つは人、命など代償が利かない家族や生命である。これらは板書する際に、黒板を上下左右に分け、上段に「宝物名」、下段に「その理由」、左右には「物」「人、命」に分類し、整理して書く方がよい。
- 「ここに残った友達の発表は？」では感想を述べあうだけで、話が絡み合わない。そこで、「質問コーナー」などを入れ、子ども達に意見を交流する機会を与えたい。
(例)「なぜそれが大事なのですか?」「六歳の誕生日の記念に買ってもらったからです」など。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



話聞3 「たからものをしょうかいしよう」

④ あなたのたからものをみんなにしょうかいしよう

⑤ あなたのたからものって何ですか？

板書

たからもの

りゆう

① 作文を書く

- ・ 結論から書く。
- ・ おさえる言葉「なぜなら」

② 2人組で発表 みんなの前で発表

③ ここに残った友達の発表は？


⑥ ふりかえり

④…問題提示 ⑤…見通しを立てる ⑥…自力解決をめざす ⑦…友達の考えを聞く ⑧…ほかの人の意見を聞き、自分の考えとの違いを見つける

⑨…振り返り、まとめをする

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【岸和田市立常盤小学校】

活用シート名	④昔話をまとめよう			基になった活用シート名	読4 おはなしをまとめよう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	随時
活用場面	授業			配当時間	45分
目標	桃太郎の話外国の友だちに教えてあげよう				
活用シート 工夫した点				<ul style="list-style-type: none"> 「ももたろう」のお話を知らない人とは…誰に対してお話を教えてあげるのか？ 話す対象を明確にする必要がある。 よって将来、子どもたちにとって友だちになるかもしれない「外国の人」とした。 「ももたろう」の昔話は幼いころから親に物語を読んでもらったり、DVDで見たり、幼稚園や保育園で紙芝居を見たことがある児童が多い。よって課題設定としては良い。 	
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> どんな昔話だったか、想起するにあたって、意見を聞いていると、児童によって印象に残っている場面は異なっていた。 物語を整理するために紙芝居を用い、4つの場面（起承転結）に分けた。 100字以内に物語をまとめることは難しく、ももたろうが鬼ヶ島から帰ってくる場面まで綴れない児童もいた。 発表にあたっては、先に隣同士で発表し、次にみんなの前で発表した。段階を経ることで全ての児童に作品を発表する機会を与えた。 友達の発表を聞いて、自分のまとめ方との違いに気づかせた。 互いの考えを伝えあい、まとめ方の違いを見出すことができた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

読4 おはなしをまとめよう

④ 「ももたろう」のお話を知らない人に紹介しま

四の場面

三の場面

二の場面

一の場面

○ 十六枚の「コマ」を掲示し、場面分けをする。

○ 「ももたろう」の紙芝居を読む。

○ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

④ 「ももたろう」のお話を短くまとめよう。

⑤ どんな話だったか、想起する。



④…問題提示 ⑤…見通しを立てる ⑥…自力解決をめざす ⑦…友達の考えを聞く ⑧…ほかの人の意見を聞き、自分の考えとの違いを見つける

⑨…振り返り、まとめをする

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【池田市立緑丘小学校】

活用シート名	⑤物語を作ってみよう			基になった活用シート名	書2③ 物語を作ってみよう
学 年	小学校2年	教 科	国語	時 期	11月末
活用場面	授業（及び宿題）			配当時間	1時間
目 標	「はじめに…」 「つぎに…」 などを用いて順序が分かるように書く。				
活用シート 工夫した点					<ul style="list-style-type: none"> ●国語の学習で、順に気をつけて書く学習を行うのに合わせて取り組んだ。 ●写真を見せて、想像を膨らませた後、書く活動にうつった。
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●「はじめに」「つぎに」を書くことを意識できるようになった。日記等でも用いる児童も現れた。 ●一方、その他の書く活動で「はじめに」「つぎに」を使うような明確な手立てをうっていない。 ●多くの児童が活用できるようにするには、日々のはたらきかけが必要だと感じた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

楽しそうに作品作りに取り組んだ。左の児童の物語のように、枠内に収まらないほど書いてくる児童も現れた。長文になってくると「はじめに」「つぎに」「さらに」「そして」といった、さらに順序を明確にする指導も必要だと感じた。

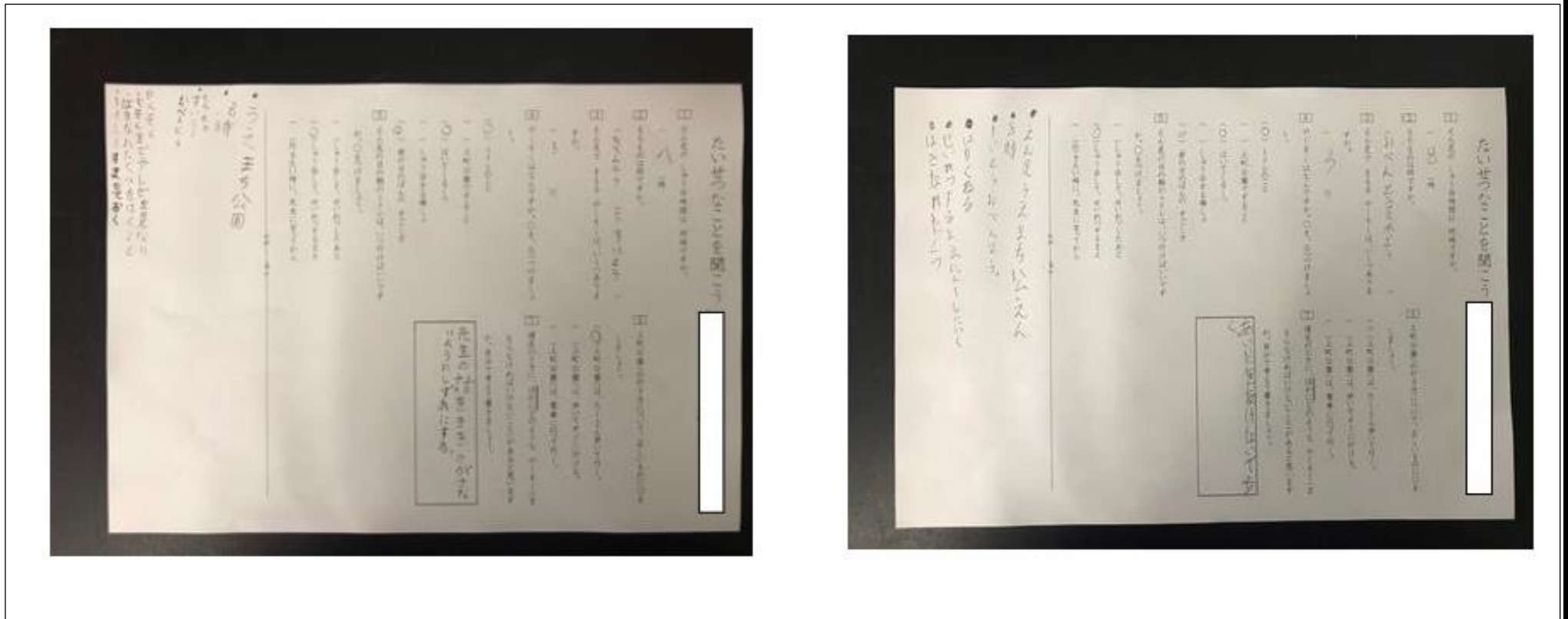
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【吹田市立千里第二小学校】

活用シート名	⑥たいせつなことを聞こう			基になった活用シート名	話聞8 お話を聞いて大切なことをメモしよう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	12月
活用場面	聞き取りテスト			配当時間	45分
目標	先生の話聞いて、大事なことを短い言葉でメモを取る。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●記述するのが難しい子どもたちなので、選択肢の問題を多くした。 ●子どもが取りかかりやすいような問題を考えた。 ●テストを始める前に、聞き取った内容をメモするときは箇条書きで書くように伝えた。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●話をしっかり聞くのが苦手な子の大半が、6番の問題を間違えていた。「遠足は電車を使う」という自分のこれまでの経験から、答えを思い込んで解答していると考えられる。 ●普段から話をしっかり聞いている子と、聞けていない子の差が顕著に表れた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

- 話の中で重要なことを、箇条書きで上手にメモをとれている子が多かった。



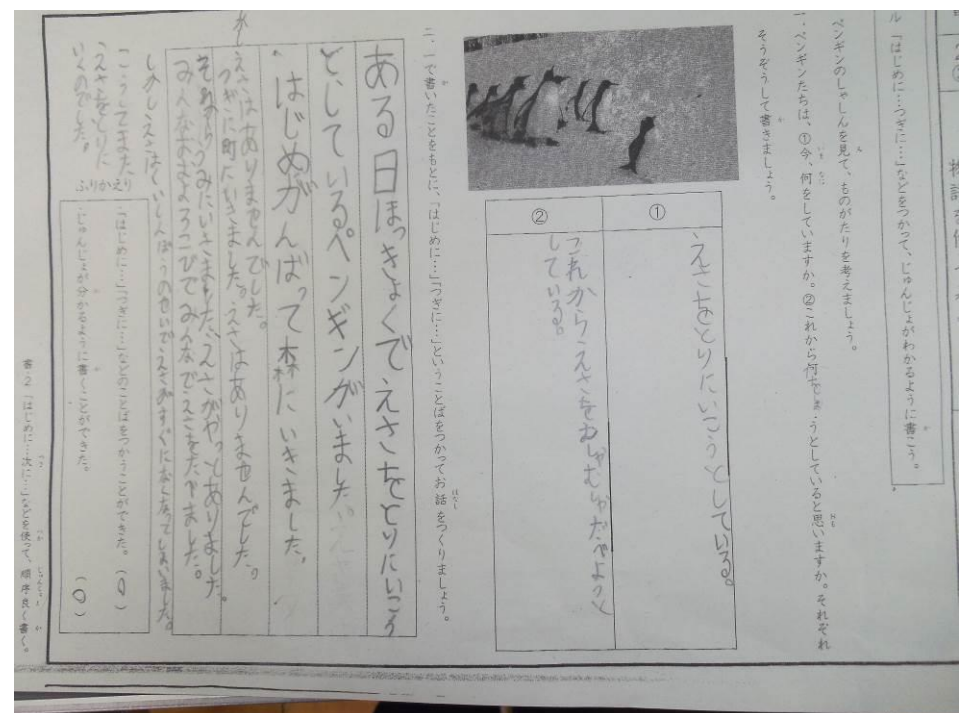
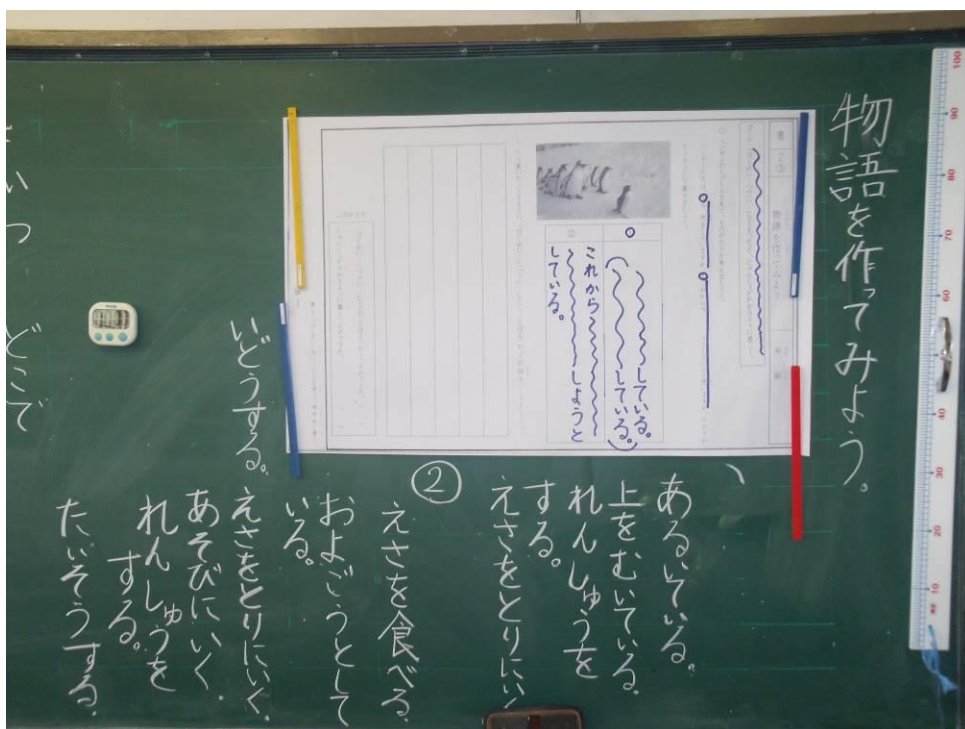
- 箇条書きでまとめられていない子もいた。また、6番の誤答が多かった。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【島本町立第一小学校】

活用シート名	⑦物語を作ってみよう			基になった活用シート名	書2③ 物語を作ってみよう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（展開）（発表）			配当時間	45分
目標	「はじめに、つぎに」などをつかって、じゅんじょがわかるように書こう。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●国語の教科書に、「まず」、「つぎに」、「そして」、「さいご」を書いて、発表する単元があったので活用シートもそれに合わせた。 ●国語の教科書に「物語を書こう」という単元があったので、今回この活用シートを使った。 ●いきなり書き出すのは難しいので、全体でイメージを膨らませてから、丁寧に書く活動に取り組んだ。 ●「はじめに」、「つぎに」以外にもキーワードを作り指導した。具体的には、「ある日」、「そして」、「しかし」などの接続詞を使用した。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●児童は楽しく書く活動に取り組むことができた。特に、物語作りに苦手意識を持っている児童が多かったが、楽しみながら活動できたことが成果。 ●発表の時間を多くとることができなかった。発表しなかったのに、発表できなかった児童が多数いたので、タイムマネジメントが課題となった。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

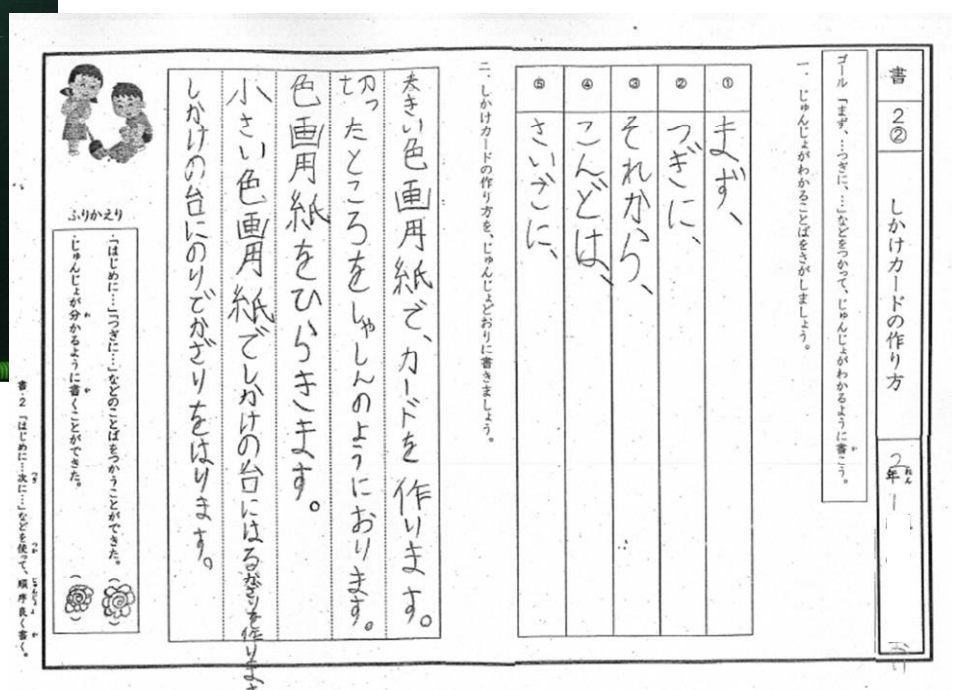
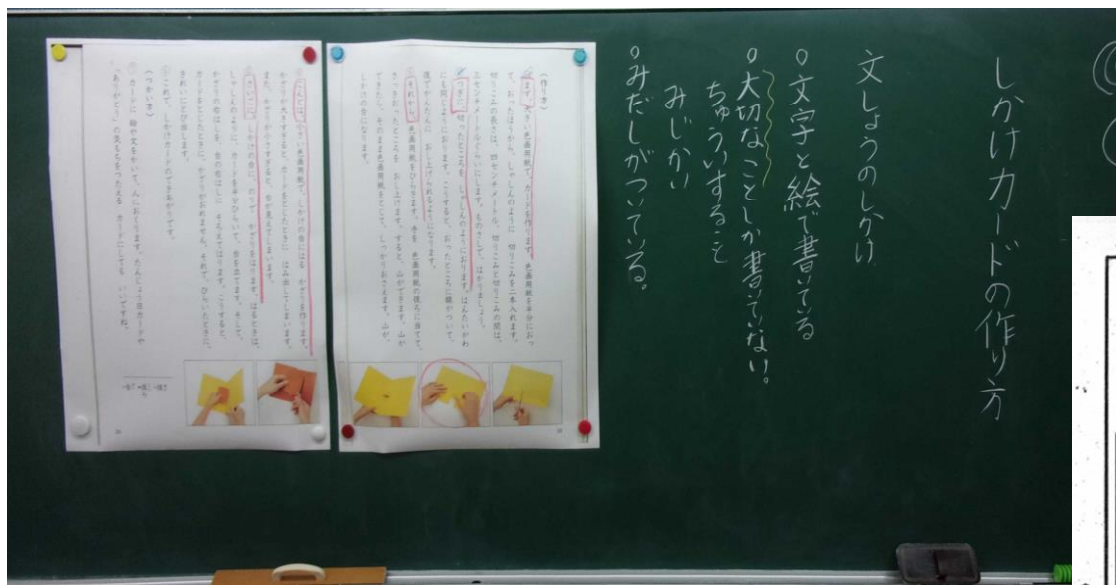


「ことばのちから」活用シート 活用事例

【守口市立下島小学校】

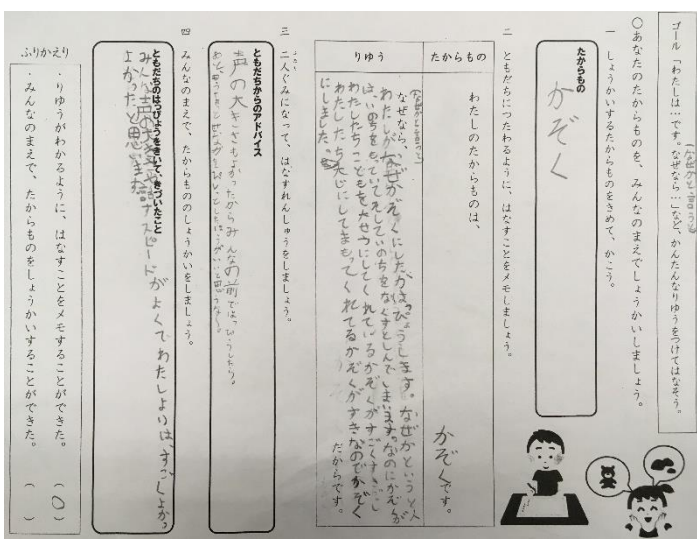
活用シート名	⑧しかけカードの作り方			基になった活用シート名	書2② じゅんじょよく 書こう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（展開）			配当時間	45分
目標	「まず、…つぎに、…」などをつかって、じゅんじょがわかるように書こう。				
活用シート 工夫した点				<ul style="list-style-type: none"> ●〈作り方〉の五つの手順にある「まず」、「つぎに」、「それから、」などの言葉を意識づけるために、発問を書き換えた。 ●文章の順序を言葉で表すことで読みやすくなることを実感させるように書かせた。 	
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の構成について、わかりやすくまとめることができた。 ●2年生には、枠が小さかった。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【大東市立北条小学校】

活用シート名	⑨よりよい話し合いをしよう			基になった活用シート名	話間3 たからものをしよう かいしよう
学年	小学校2年	教科	生活科	時期	12月
活用場面	授業（導入）			配当時間	45分
目標	自分のたからものについて、「なぜ」たからものなのか、伝えることができる。				
活用シート 工夫した点	 <ul style="list-style-type: none"> ●3学期に、生活科の学習で、自分史について学習する予定である。その導入段階として、自分の宝物について考えるために、今回のワークシートを活用した。 ●日々の授業では、自分の意見を発表できる児童は多く見られるが、根拠をもって発表できている児童は多くはない。そこで、今回のワークシートを活用し、自分の意見に対して、根拠（理由）をもって発表できるよう工夫した。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシートを活用し、自分の言葉で書くことで、自信をもって発表することができた。 ●ペア⇒アドバイス⇒全体といった発表の流れに沿って行うことで、全体発表の時に、自信をもって伝えることができる児童が多くみられた。 ●段階を経て活動を行っていく中で意欲的に取り組む姿勢がみられるようになった。 ●「ともだちのはっぴょうをきいて、きづいたこと」を考える時に、自分の発表と比較して、アドバイスを伝えることができる児童もみられた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

- ワークシートを活用することで、根拠をもって、自分のたからものについて、発表することができた。
- ワークシートの文章構成に当てはめることで、順序立った文章を書くことができ、聴く側に、伝わりやすい文章を書くことができた。
- 「ともだちに、声の大きさをほめられてうれしかった。」「ともだちのたからものを知ることができたとし、りゆうもくわしく知れてよかった。」などのふりかえりが見られた。
- ともだちの発表を聴く中で、仲間一人ひとりの思いや考えを自分の中で深めることができるようになってきた。

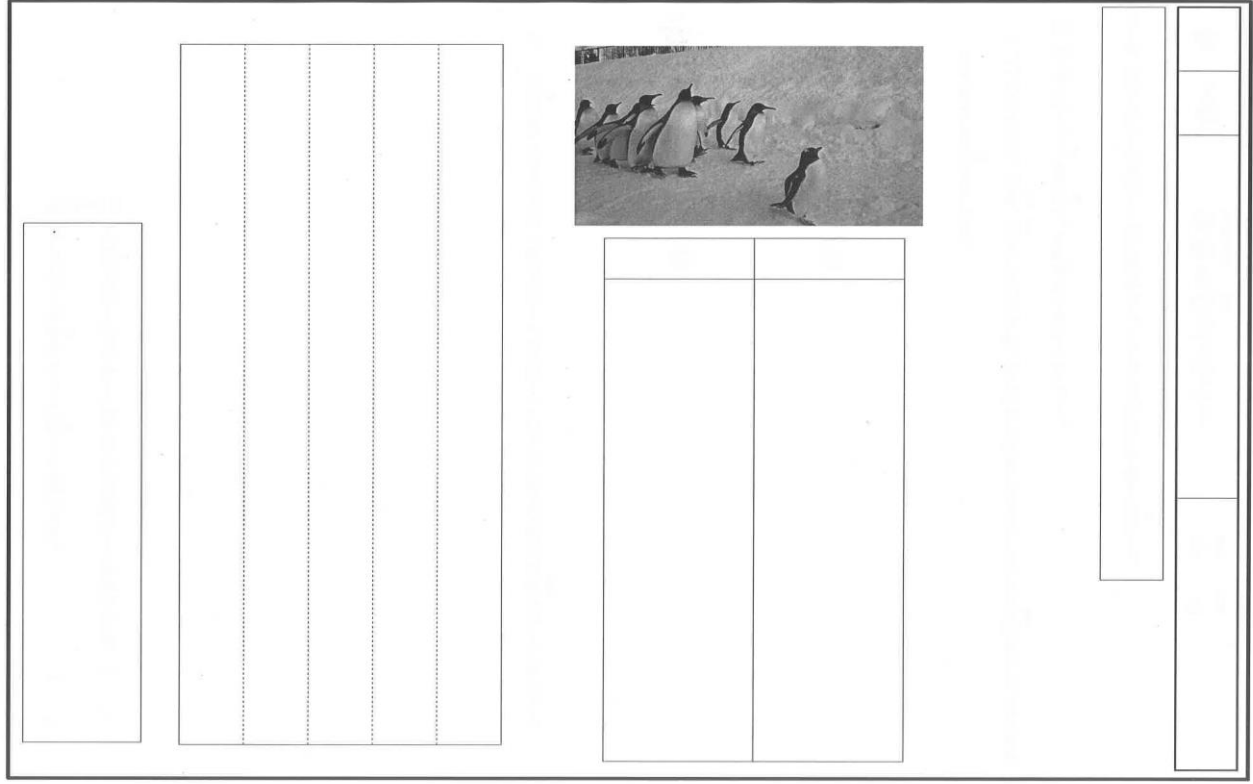


「ことばのちから」活用シート 活用事例

【八尾市立志紀小学校】

活用シート名	⑩物語を作ってみよう			基になった活用シート名	書2③ 物語を作ってみよう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	10月
活用場面	授業(展開)			配当時間	45分
目標	(はじめに…つぎに…)などをつかって、じゅんじょがわかるように書こう。				

活用シート
工夫した点



- 国語の教科書に、「はじめ」「中」「おわり」のまとまりで、お話を書こうとなっていたので、活用シートもそれに当てた。
- 絵を見て想像を広げてから物語を考えさせた。

成果や改善点

- 一でメモでまとめたことから二のお話作りにつなげたため、「はじめ」「つぎに」などの言葉をしっかりと活用しながら書くことが出来ていた。
- 行数が少なく話しの内容が薄く子どもの意欲に添えなかったため、行数を方が良かった。

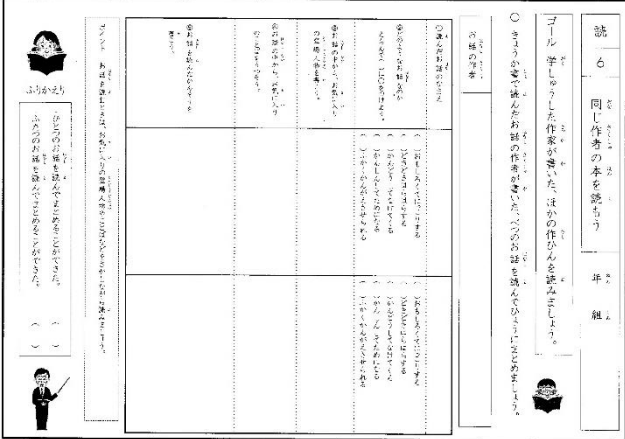
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

- はじめにペンギン小学校の運動会に向かう→つぎに、運動会でみんなでたくさん練習したダンスを踊る。
- はじめに後ろから追いかけてくる恐竜から全速力で逃げる→つぎに恐竜に話をして仲良くなって背中に乗せてもらう。

《一例》「ペンギン達は今からみんなでパーティーに出かけます。はじめに、お土産の魚を取りに海に行きます。大好物のアジを大漁に取りました。つぎに、パーティー会場のタコさんの家に行きました。そこで、みんなですべてきた魚を机にならべてみんなで楽しくパーティーを楽しみましたとさ。」

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【富田林市立久野喜台小学校】

活用シート名	⑪同じ作者の本を読もう			基になった活用シート名	読6 同じ作者の本を読もう
学年	小学校2年	教科	国語（図書）	時期	11月
単元	同じ作者の本を読もう	活用場面	授業	配当時間	30分
目標	副題を考えることを通して、言葉の働きや面白さに気付くことができる。				
活用シート 工夫した点	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもの発達段階に合わせて、ワークシートを3段階に分けて作成した。 • 授業の構成図を作成し、学校図書支援員との連携を図った。 </div> </div>				
成果や改善点	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> • 児童が絵やシリーズで本を選ぶのではなく、題名や副題に注目し本を選ぶようになった。選書能力の向上につながっている。 • 副題を考えることを通して、言葉の違いや、ニュアンスの違いから、言葉の面白さに気付くことができた。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> • 副題を考えるにあたって、ワークシートを活用する際に、子どもの表現の幅が狭まらないように注意しておくことが大切だと感じた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

か思うい今
たいとい本日
がいてまには
ないうしたふ
本とたのくふ
をりしだく
かりいだ
たどうなをい
時ふしあの
自分でくてとけな

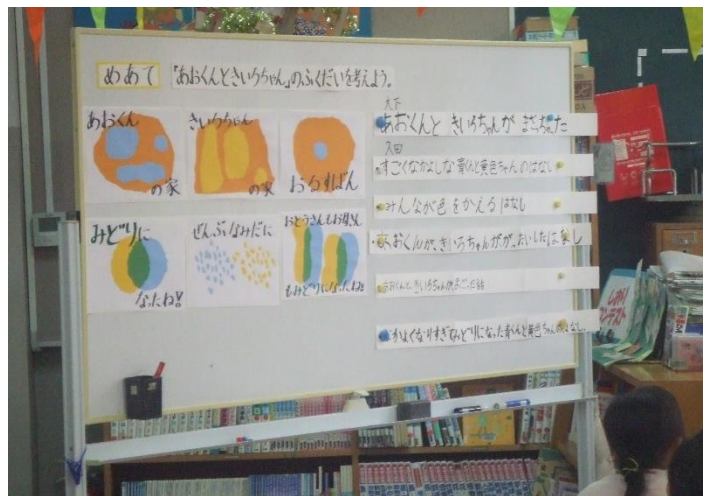
ふのりかえり
かよしすま
かみでりにな
った

んにんしど
としのなう
黄た話青し
色かとくて
ちといんす
やいうとこ
んうふ黄く
はとく色な
青だちか
なくいやよ

すごくながよ
しな青くんと
黄はなし
色ちゃん

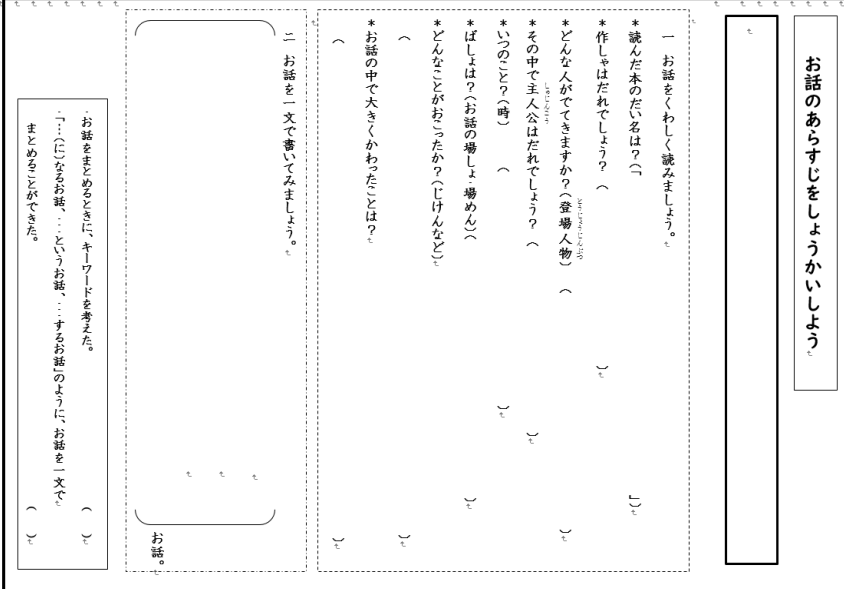
めあて ふくだいを考えよう
じぶんできえたふくだい

おなじくけいしやの本を読もう③
一年一組



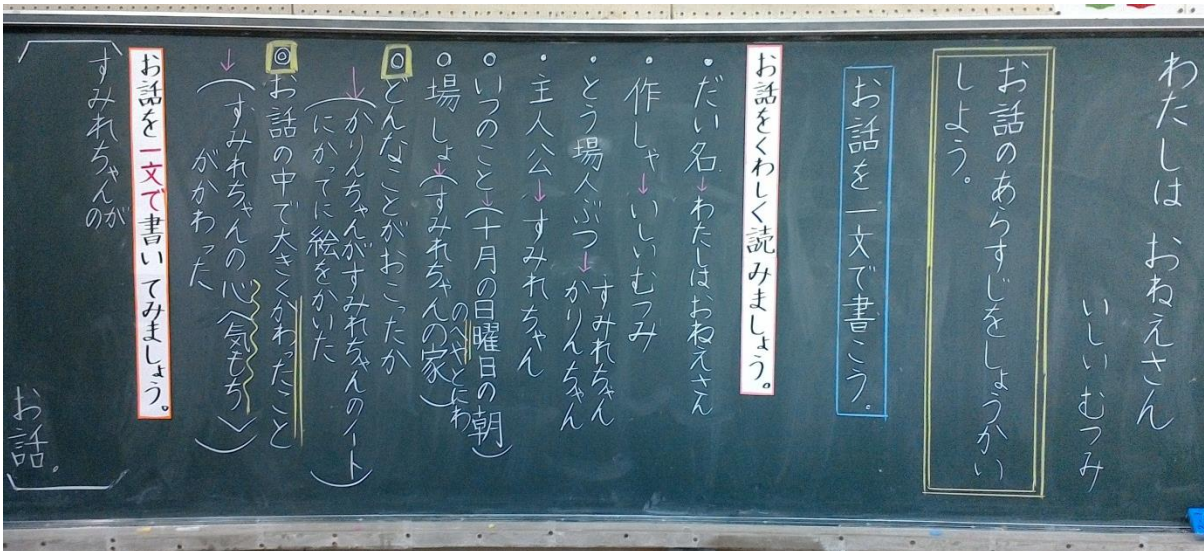
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【藤井寺市立道明寺南小学校】

活用シート名	⑫お話のあらすじをしようかいしよう			基になった活用シート名	読9 お話を一文で表現しよう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	12月
活用場面	授業（展開）			配当時間	45分
目標	<ul style="list-style-type: none"> 物語のあらすじをまとめることができる。 あらすじをもとに、物語を一文に書き表すことができる。 				
活用シート 工夫した点	 <ul style="list-style-type: none"> ●単元のめあてが「お話のあらすじをしようかいしよう」だったので、活用シートもそれに合わせて編集した。 ●自分の考えが書けない子のために、フリートークの時間をとって、友達の考えの共感できるところを書いていくように支援した。 ●「一文で書く」の意味を理解させるために、句読点の使い方について、もう一度確認した。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の本文を見ながら、物語の「時」や「場所」、「出来事」などを見つけ、シートに書く姿が見られた。 ●自分の考えがなかなか書けない子もいたが、フリートークで「同じや！」とか「そうか！」という発言も見られたので、シートを使ってから、話し合うことの大切さを感じることができた。 ●「一文にまとめる時に大切なこと」を書くスペースもあった方が良かった。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

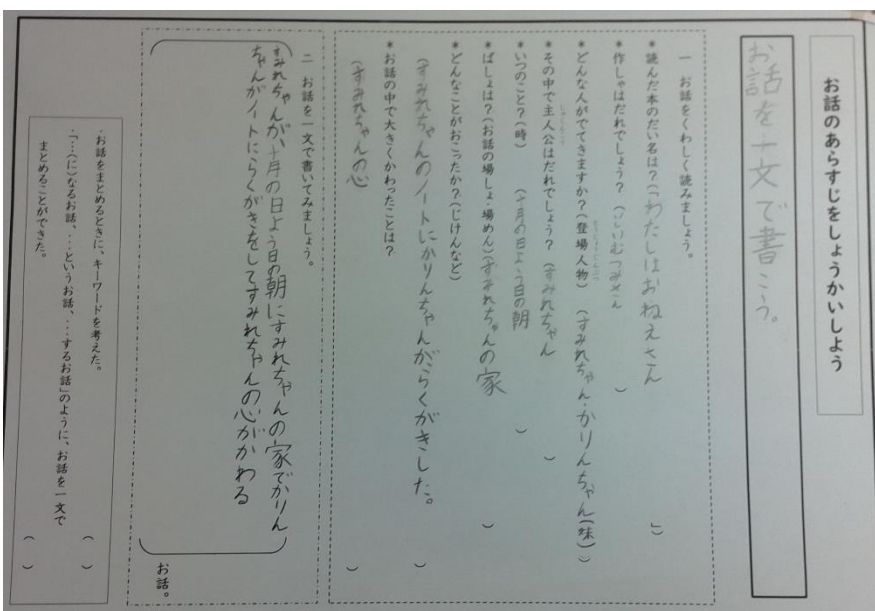
☆子どもの表現した一文



・かりんちゃんがすみれちゃんのノートにらく書きをして、すみれちゃんはおころうとしたけどお花と知ってからかわいく見えてきたお話。

・すみれちゃんのノートにかりんちゃんがかってにらく書きをして、すみれちゃんはおこりそうになって、でもさい後に次のページをひらいたお話。

・すみれちゃんが水やりからもどってきた時、かりんちゃんがらく書きをしたけど、おこらずに、けさずにつぎのページに行くお話。



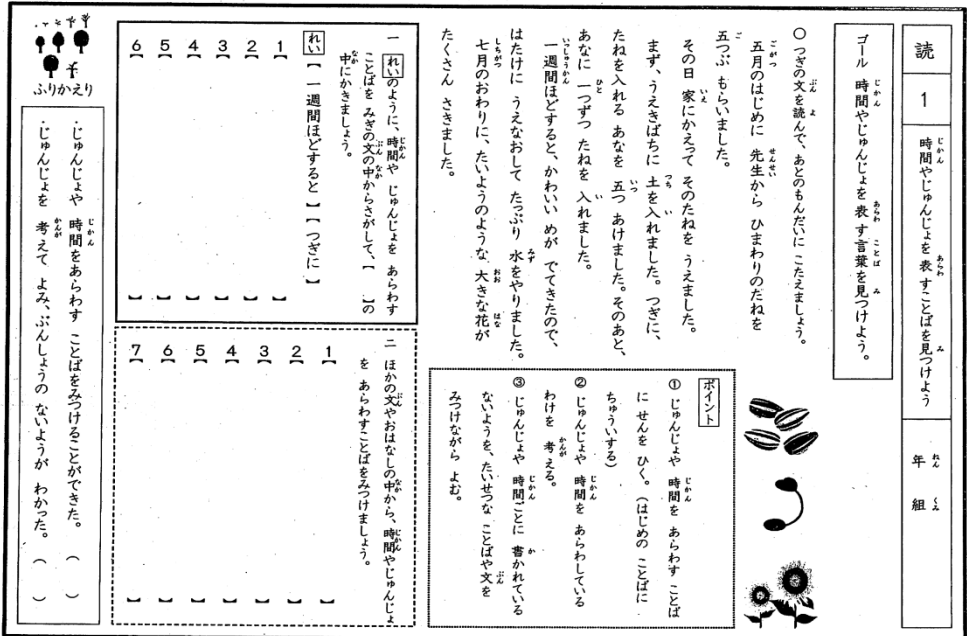
・すみれちゃんはおこってたけど、やさしいおねえさんだから、かりんちゃんをゆるして、気持ちがかわるお話。

・すみれちゃんの出しっぱなしのノートに、かりんちゃんが何かをかいて、じっとずっと見てるとかわいく見えてきて、絵を消そうとしたけど消さなかったお話。

・すみれちゃんは2年生の女の子で、かりんちゃんがすみれちゃんのノートに落書きをして、すみれちゃんがおこっていたけど、ゆるしたお話。

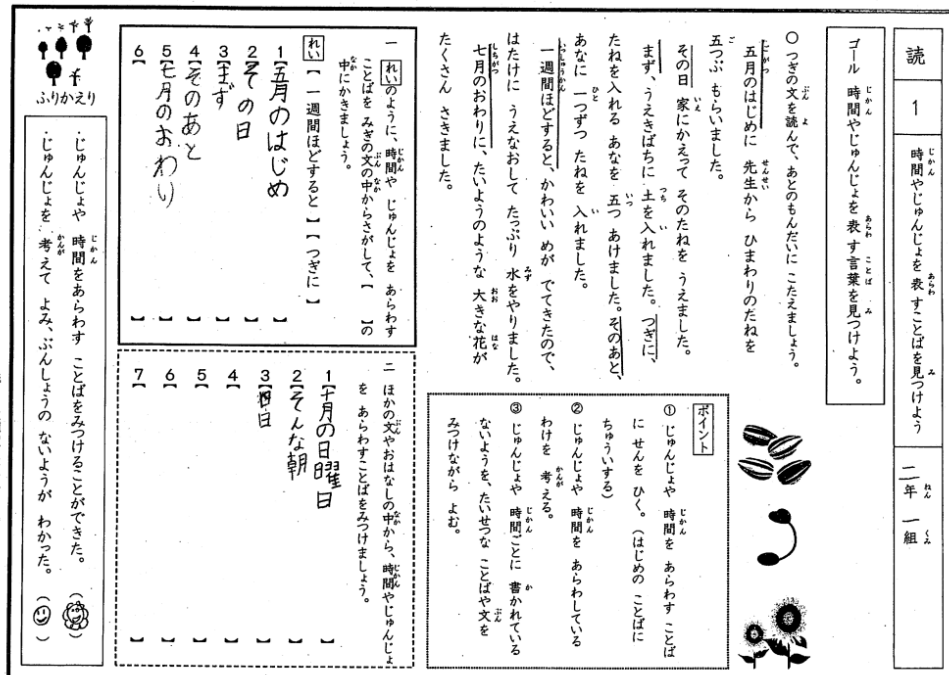
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【藤井寺市立藤井寺北小学校】

活用シート名	⑬時間やじゅんじょを表すことばを見つけよう			基になった活用シート名	読1 時間やじゅんじょを表すことばを見つけよう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	10月
活用場面	授業			配当時間	45分
目標	時間や順序を表すことばを見つけよう				
活用シート 工夫した点	<p>●時間をや順序を表す言葉は、「五月のはじめ」、「その日」、「まず」、「つぎに」、「そのあと」、「一週間ほど」、「七月のおわり」の7つなので、れいに書かれている2つを入れると、解答欄には入らない。そのため、れいは確認に使い、解答には入れないこととした。</p> 				
成果や改善点	<p>●『どうぶつ園のじゅうい』（光村図書上）で行った「時間的な順序を考えながら読み取る」ための言葉を探し出す学習の復習をすることができた。</p> <p>●ポイント②・③は時間がかかるので、45分間の授業では、二「ほかの文やおはなしの中から・・・」をする時間が取れない。</p>				

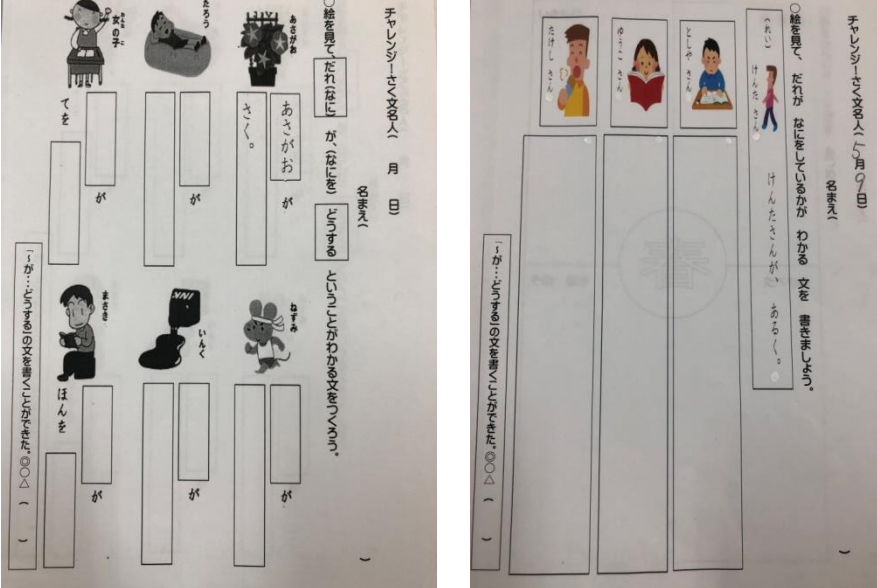
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

- 『どうぶつ園のじゅうい』で学習した後なので、子どもたちは止まることなく取り組んでいた。
- ポイント①で順序や時間を表す言葉に線を引いてから書き込むことで、文章全体を見て考えることができていた。
- 「五月のはじめ」や「七月のおわり」などでは、「五月」や「七月」までと考えている子どもが数名見られた。
- 時間や順序を表す言葉は文の頭にあるということを再確認することができた。

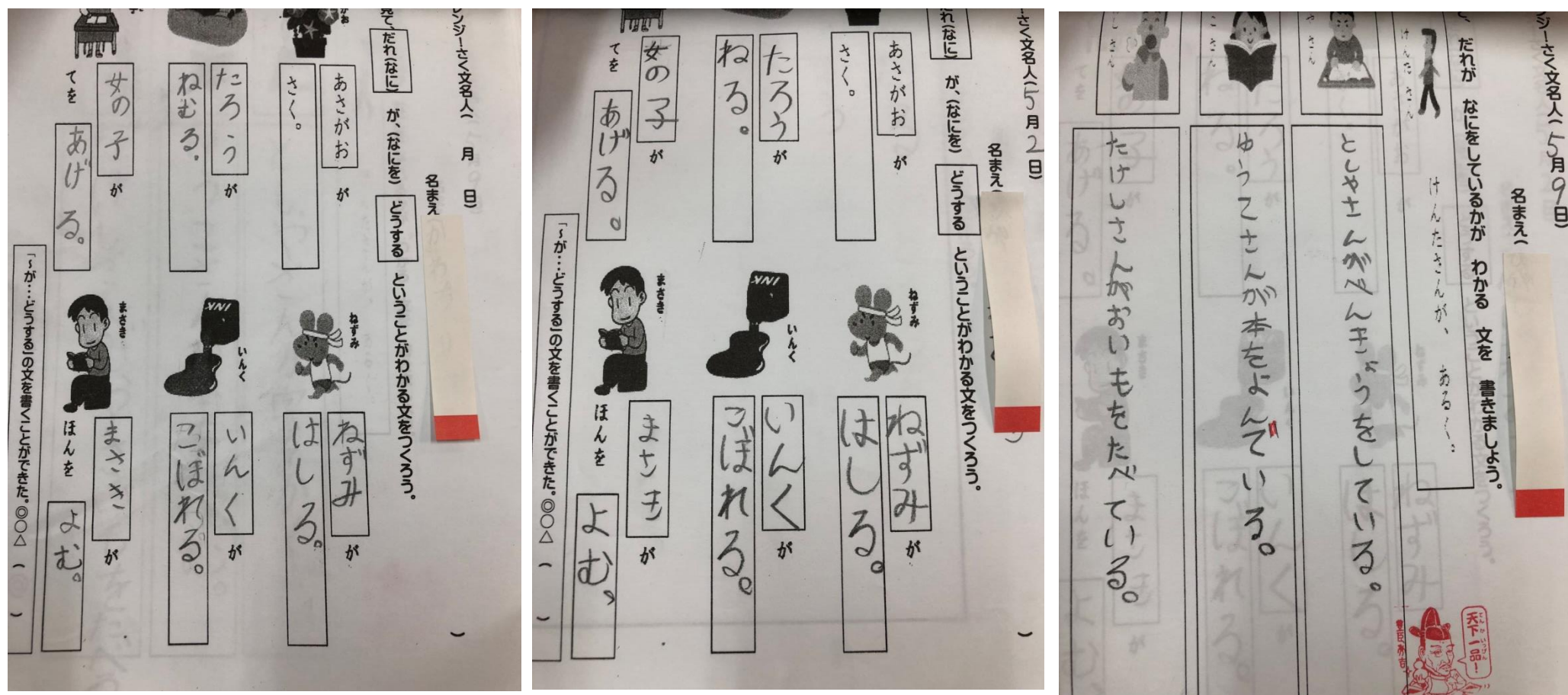


「ことばのちから」活用シート 活用事例

【藤井寺市立藤井寺小学校】

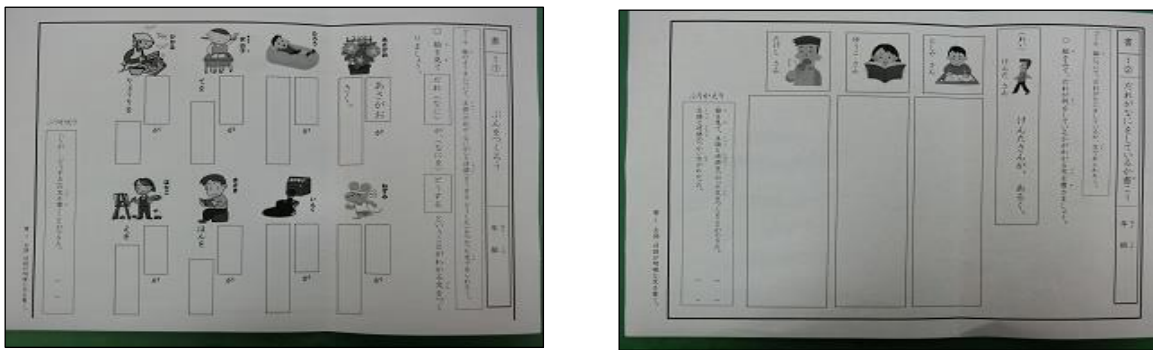
活用シート名	⑭文を作ろう			基になった活用シート名	書1① ぶんをつくろう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	5月
活用場面	朝の学習			配当時間	15分
目標	「～が…どうする」の文を書くことができる。				
活用シート 工夫した点	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 行事のふりかえりや、作文を書くなかで主語が抜けてしまう児童が多いため、文を作る基礎になるシートを活用した。 ● このシートを活用した後に、別日の朝学習で書くこと1②の「だれがなにをしているか書こう」にも取り組んだ。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● ふりかえりの中でも、「誰」が「どうした」ことが良かったなど、自然と主語述語を意識することができる児童が増えた。 ● 国語の「しかけカードの作り方」の単元では、主語が道具やものに変化しても、きちんと述語と結び付けて書くことができた。 ● 一枚目の「ぶんをつくろう」で基礎を確認することができたので、二枚目の「だれがなにをしているか書こう」はスムーズに取り組むことができた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

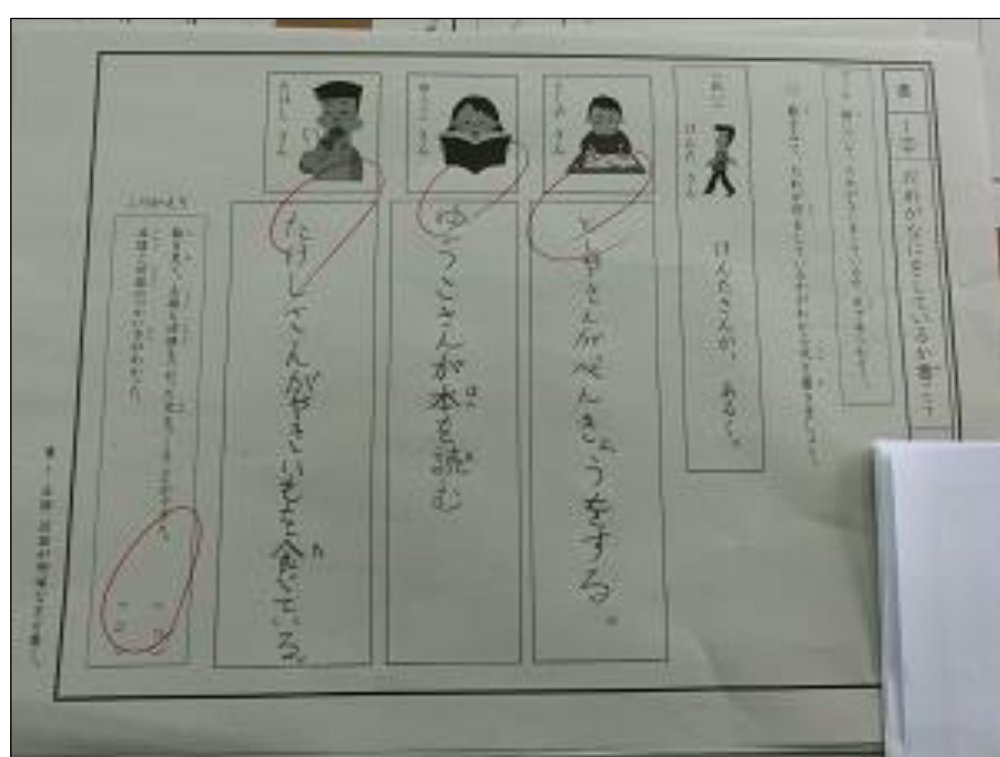


「ことばのちから」活用シート 活用事例

【大阪狭山市立南第三小学校】

活用シート名	⑮ぶんをつくろう だれがなにをしているか書こう			基になった 活用シート名	書1①② ぶんをつくろう だれがなにを しているか書こう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	11月
活用場面	家庭学習			配当時間	30分
目標	主語、述語の意味を理解し活用できる。				
活用シート 工夫した点	 <ul style="list-style-type: none"> ● 1学期に学習した「主語・述語」について復習し、定着を図るために家庭学習の課題にした。 ● 先に書①に取り組み、少し応用編になる書②に取り組んだ。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵に表されているので、視覚支援が必要な児童も自分の力で取り組むことができた。 ● 段階を踏んで取り組めたので、すべての児童が自力で解答できた。 ● 授業で学習した時から時期が空いたタイミングで行ったので、児童にとっていい復習の機会となった。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【太子町立磯長小学校】

活用シート名	⑩大切なことを、数えながら聞く。			基になった活用シート名	話聞4 だいじなお話は いくつ？
学年	小学校2年	教科	国語	時期	11月
活用場面	二上遠足にむけて			配当時間	5分
目標	話の要点を聞く力をつける				
活用シート 工夫した点	<p>●活用方法</p> <p>① 遠足にむけて人の話を聞く活動をするををしらせる。</p> <p>② ワークシートを配布して、ねらいは「大事な3つのことを聞きましょう」と伝える。</p> <p>③ 話を教師がゆっくり読んでワークシートに書かせる。</p> <p>● 3つの大事なことを聞くようにことばかけをしてから話した。</p> <p>● 全部書かなくていいので、大事と思うことだけ書くように指示した。</p> <p>● ゆっくりとはっきりと読むように配慮した。</p> <p>● 身近な生活場面で活用できるように遠足の2日前に行った。</p>				
成果や改善点	<p>● 視覚的に確認できなくても話が聞けるように意識づけることができた。</p> <p>● あまり話が長いと集中できないので、文章を短くしてもいいかなと思った。</p>				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

話聞 4

だいじなお話はいくつ？

2年1組

ゴール 先生の話聞いて、だいじなことをもろさず聞く。

活用シートを、点線（——）で、折り返し。

○先生が明日の遠足についてお話をします。先生の話す内容はいくつあるのか、大切な内容を聞きもろさないように聞きましょう。

○「先生が守ってほしいと話した3つのこと」を書きましょう。

おそくまでテレビを見ないで早く帰る。

し・は・つ・つ・る・ま・で・に・ト・イ・レ・を・す・ま・せ・て・行・く。

は・き・な・れ・た・く・つ・を・は・く。

○となりの人と「3つのこと」を確認しましょう。

「先生の話」 ※先生がはつきり読んであげてください。

明日、みなさんは遠足で上町公園に行きます。集合時間は8時です。持ち物は、おべんとうと水です。忘れないようにしてください。

楽しい遠足にするために、必ず守ってほしいことが3つあります。一つ目は、今日の晩はおそくまでテレビを見たりせず、早く帰ることです。すいみん不足だと遠足を楽しむことができません。二つ目は、明日の朝集合してせいれつするまでにトイレをすませておくことです。時間たんしくになり早く出発することができず、三つ目は、はきなれたくつをはいてくることです。上町公園までかなり歩きますので、足がいたくならないように聞きます。この三つの約束を守って楽しい遠足にしましょう。

ふりかえり
先生の話最後まで聞くことができた。
先生の話の三つのことをもろさず聞くことができた。

話聞 4

だいじなお話はいくつ？

2年1組

ゴール 先生の話聞いて、だいじなことをもろさず聞く。

活用シートを、点線（——）で、折り返し。

○先生が明日の遠足についてお話をします。先生の話す内容はいくつあるのか、大切な内容を聞きもろさないように聞きましょう。

○「先生が守ってほしいと話した3つのこと」を書きましょう。

早く帰る。

ト・イ・レ・を・す・ま・せ・て・お・く。

は・き・な・れ・た・く・つ・を・は・い・て・来・る。

○となりの人と「3つのこと」を確認しましょう。

「先生の話」 ※先生がはつきり読んであげてください。

明日、みなさんは遠足で上町公園に行きます。集合時間は8時です。持ち物は、おべんとうと水です。忘れないようにしてください。

楽しい遠足にするために、必ず守ってほしいことが3つあります。一つ目は、今日の晩はおそくまでテレビを見たりせず、早く帰ることです。すいみん不足だと遠足を楽しむことができません。二つ目は、明日の朝集合してせいれつするまでにトイレをすませておくことです。時間たんしくになり早く出発することができず、三つ目は、はきなれたくつをはいてくることです。上町公園までかなり歩きますので、足がいたくならないように聞きます。この三つの約束を守って楽しい遠足にしましょう。

ふりかえり
先生の話最後まで聞くことができた。
先生の話の三つのことをもろさず聞くことができた。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

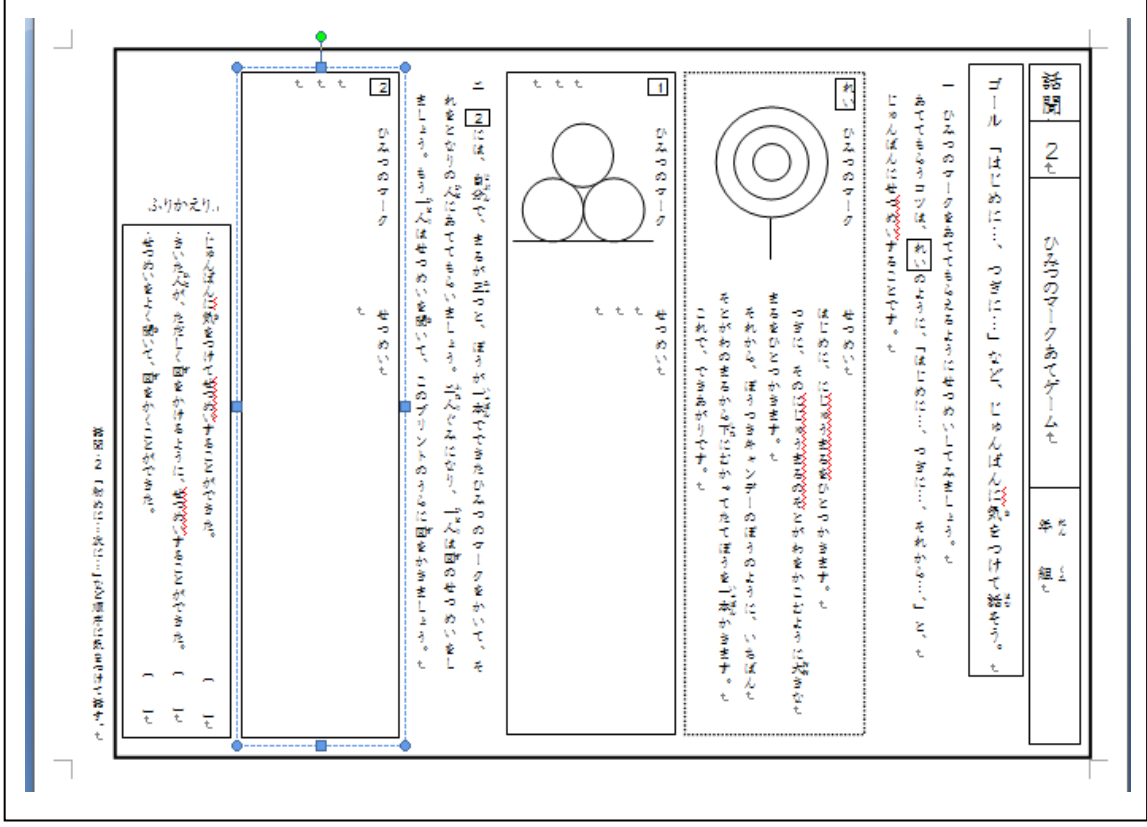
【河南町立近つ飛鳥小学校】

活用シート名	⑰ひみつのマークあてゲーム			基になった活用シート名	話間2 ひみつのマークあてゲーム
学年	小学校2年	教科	国語	時期	5月
活用場面	授業			配当時間	45分

目標 聞き手に分かるように、絵を描く順序に沿って事柄を詳しく説明することができる。

活用シート

工夫した点

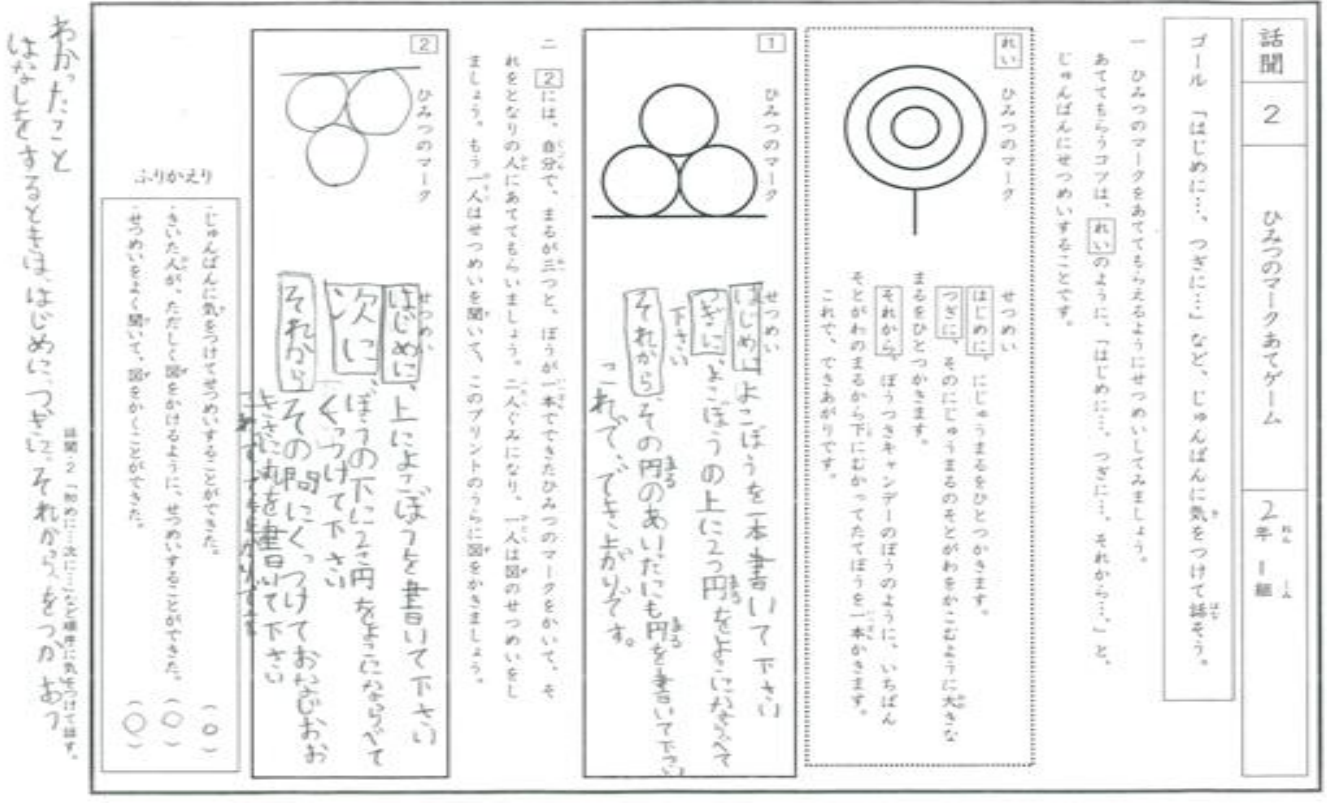


- 東京書籍 2年「ことばで絵をそだてよう」の単元の第1時に活用した。
- ゲームの説明後、数名の児童に例のひみつのマークを見せ、それを見て、クラスのともだちに説明をさせた。うまくつたわらなかった経験から、「どのように説明すると、聞く人に正しく伝えることができるか」という「めあて」を持たせるようにした。
- プリントを配布し、例の説明を参考にして、ひみつのマークの説明を書く練習をした。
- 学習後、自分の言葉でもふりかえりを書かせた。

成果や改善点

- ひみつのマークの説明①で気付いたことを、話し合い、ひみつのマーク②の説明に生かすことができていた。
- 「れい」の説明の文章中の「はじめに」「つぎに」「それから」を四角で囲ったことで、3つのキーワードを意識しやすくなった。
- 説明を書くスペースが少なかったため、①と②のシートを分けて作成し罫線を引くなどの工夫をしたほうがよかった。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



わかったこと
はたしをするとははじめに、つぎに、それからを、ついでに、

ふりかえり
はじめに、つぎに、それから、ついでに、

② ひみつのマーク
はじめに、つぎに、それから、ついでに、

① ひみつのマーク
はじめに、つぎに、それから、ついでに、

れい ひみつのマーク
はじめに、つぎに、それから、ついでに、

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【千早赤阪村立赤阪小学校】

活用シート名	⑱だいじなお話はいくつ？			基になった活用シート名	話聞4 だいじなお話はいくつ？
学年	小学校2年	教科	国語	時期	12月
活用場面	授業			配当時間	15分

目標 話を聞いて、だいじなことをもらさずに聞こう。

活用シート

工夫した点

- 活用シートは点線で切り取って、解答の用紙だけを児童に配布した。終わってから残り半分を配るようにした。
- 教師は、ゆっくり、はっきりと読むようにした。
- 話は、2回繰り返して読んだ。メモはとらないでおこなった。

成果や改善点

- 文を読み上げる前に、『先生が守ってほしいと話した3つのこと』について聞きもらさないように・・・と言っておいたことで、何についてきいておけばいいのかがわかりやすかった。
- 聞き取りが終わった後、文章の書いたプリントを自分で読んで、『先生が守ってほしいと話した3つのこと』に赤線を引く活動をしたが、よくできていた。文字を声に出して読むことで内容が入りやすかった。

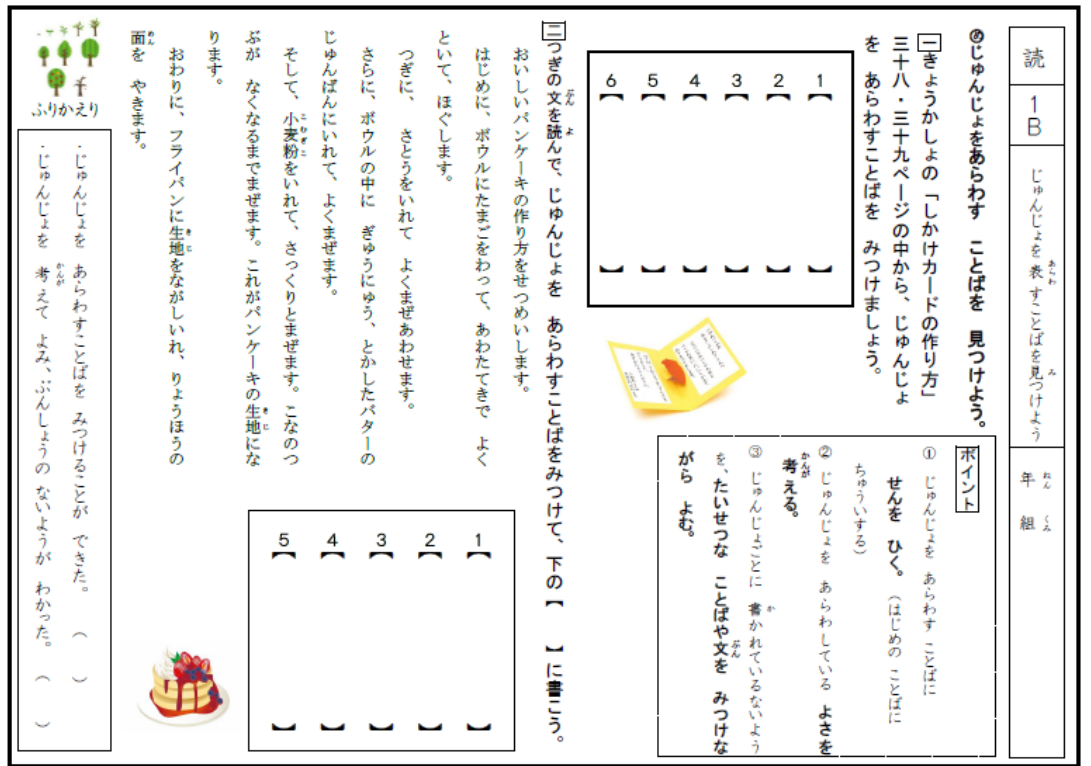
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

- 聞き取りはできるが、「は」→「わ」、「を」→「お」と書く間違いが多くみられた。（自ら、解答の見直しを意識して行っているように声掛けをしていく。）
- 聞いたことをそのまま書いている子もいたが、自分の言葉で書いている子もいた。
（例）たくさん歩くから、はきなれたくつでくる。（はきなれた→なれている）
- 「きょうのよるは」→「きょうのよるわ」
- 「トイレをすませておく」→「トイレおすませておく」
- 15人中2名ほど、解答に空欄があった。（何を聞き取っていいのかがわからず・・・）

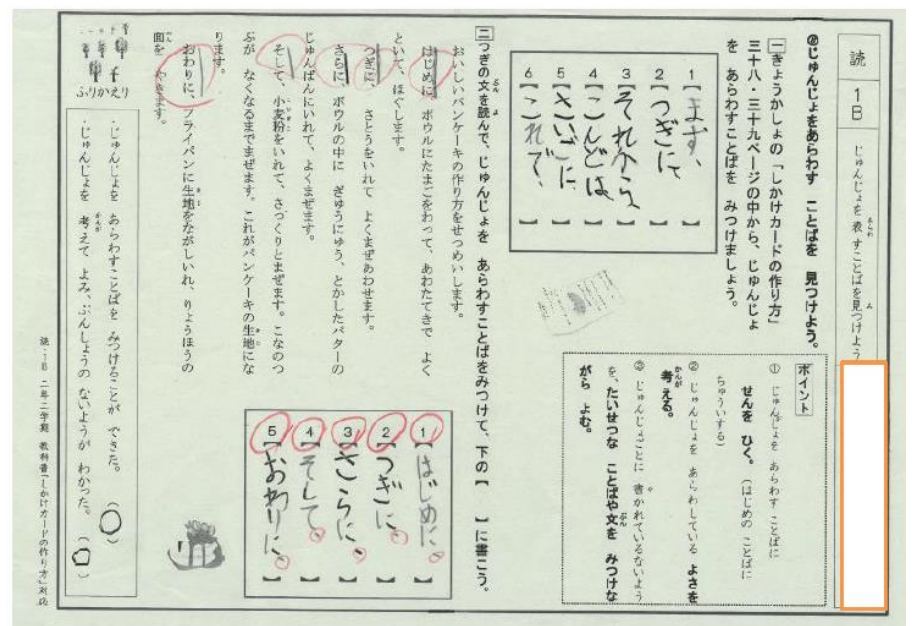
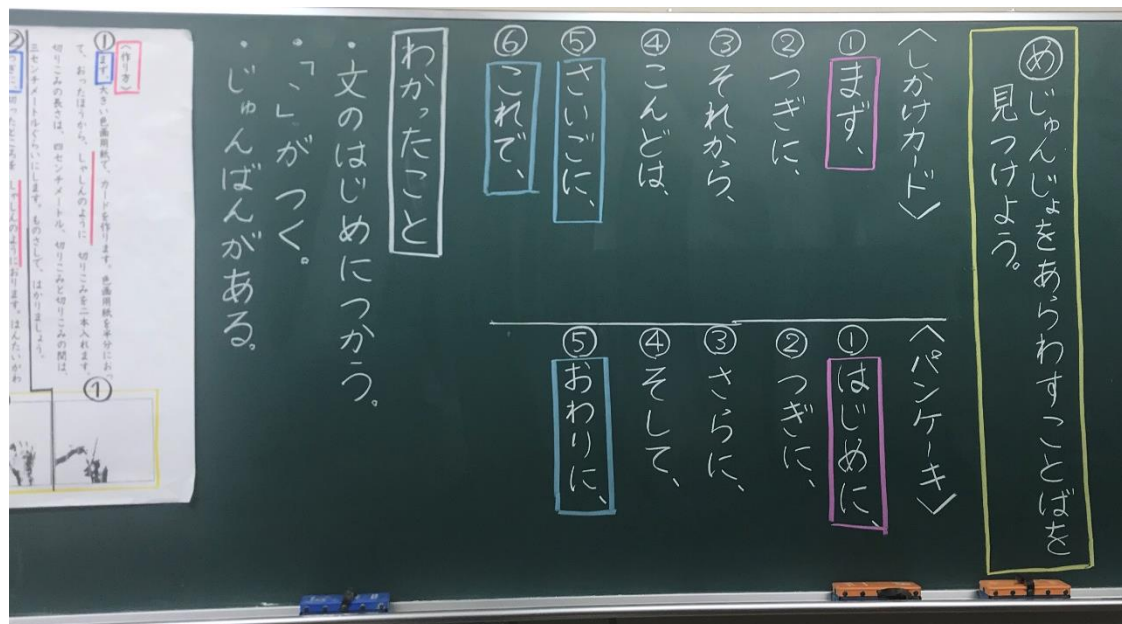
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【泉大津市立旭小学校】

活用シート名	①9じゅんじょをあらわすことばをみつけよう			基になった活用シート名	読1 時間やじゅんじょを表すことばをみつけよう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	11月
単元	せつめいのしかたに気をつけて読もう	活用場面	授業	配当時間	25分
目標	じゅんじょを表す言葉に気をつけて、読むことができる。				
活用シート 工夫した点	<p>○原本は、「時間を表すことば」と「順序をあらわすことば」が1シートに入っていたが、それを2シートに分けて学習できるようにした。</p> <p>○教科書の「しかけカードの作り方」を用いて、授業の復習にも対応できるようにした。</p> <p>○教科書で使われている「順序をあらわすことば」以外を2問目に入れて、練習できるようにした。(例：まず→はじめに)</p>				
成果や改善点	<p>○この後の単元に出てくる、「おもちゃの作り方」を説明する時に必要な言葉を理解するのに役立った。</p> <p>○「順序をあらわすことば」の中でも、はじめにふさわしいもの・最後にふさわしいものなど話し合うことができた。</p>				



子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

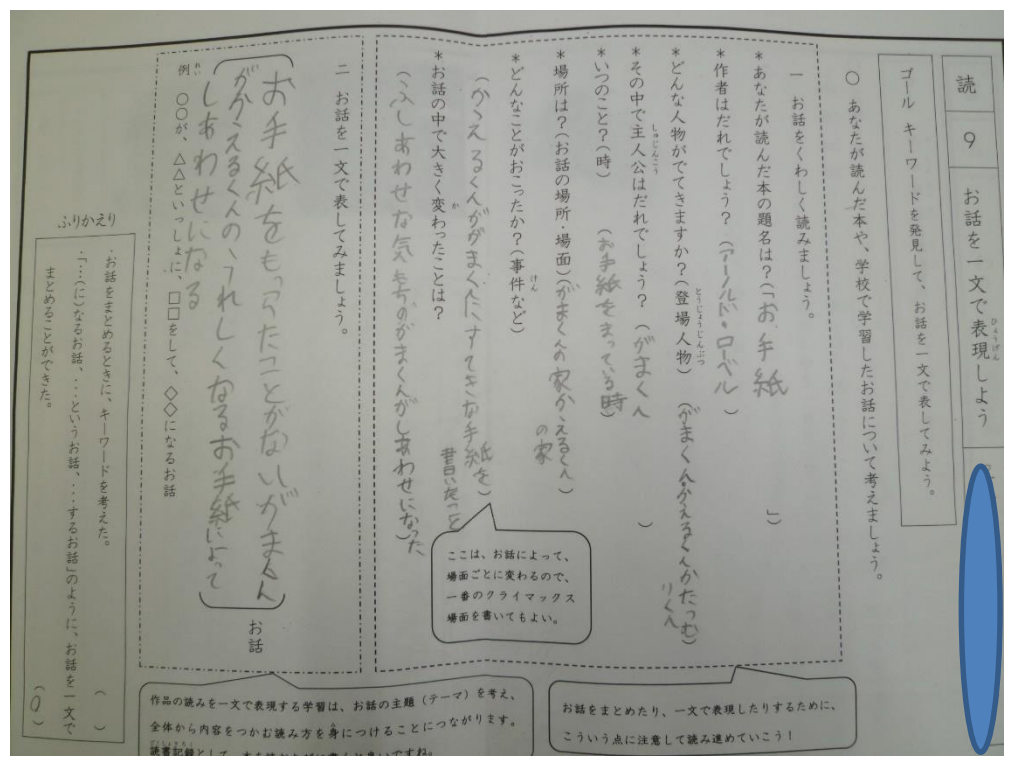
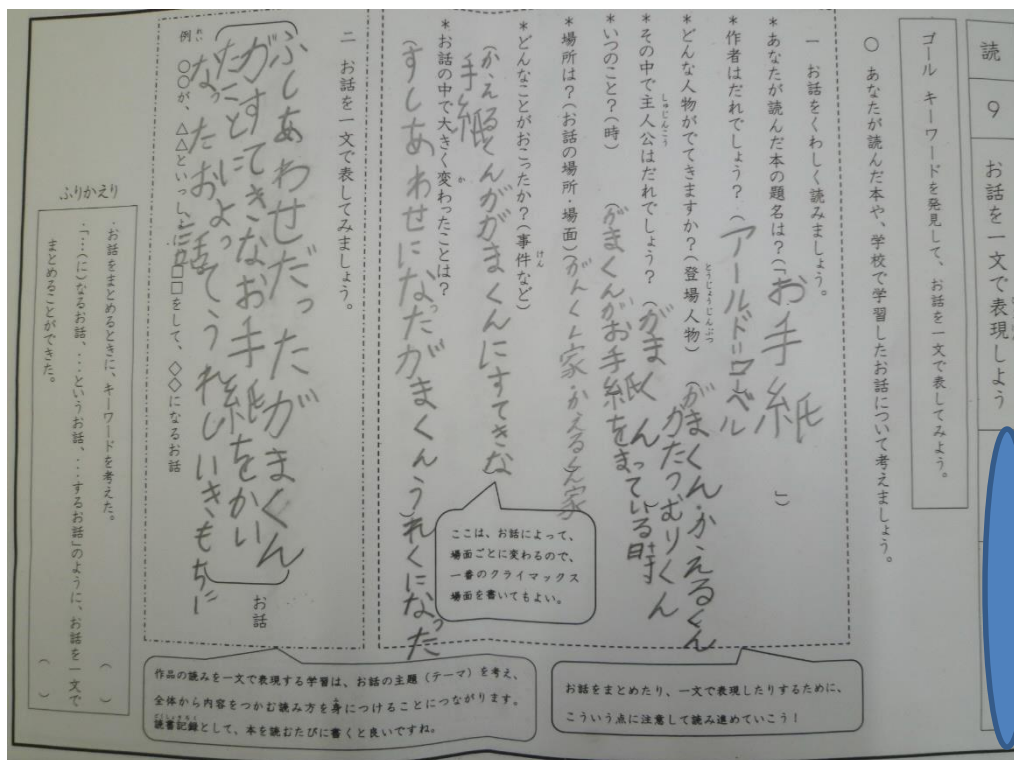


「ことばのちから」活用シート 活用事例

【忠岡町立東忠岡小学校】

活用シート名	⑳お話を一文で表現しよう			基になった活用シート名	読9 お話を一文で表現しよう
学年	小学校 2 年	教科	国語	時期	9月
活用場面	授業			配当時間	45 分
目標	キーワードを発見して、お話を一文で表してみよう。				
活用シート 工夫した点	<p><学習の流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語の教科書単元「お手紙」を学習した際、活用した。 ●「はじめ」「中」「終わり」の 3 部構成を使い、 「はじめ」の場面 = ~だった中心人物が 「中」の場面 = ~することによって（出来事・事件） 「終わり」の場面 = ~なる話。を使うことを教えた。 <p><工夫した点></p> <p>○物語に関する既習事項「登場人物」「中心人物」「設定」「山場」「あと話」などを再度確認した。</p>				
成果や改善点	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ●用語の活用を徹底しているため、理解が速かったように感じる。 <p><課題></p> <p>○内容理解の徹底が甘く、かえるくんからの「手紙をもらったこと」で幸せになったと書いている児童がいたのが、反省点。</p>				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【忠岡町立東忠岡小学校】

活用シート名	②わたしは作家さん			基になった活用シート名	書6 わたしは作家さん
学年	小学校2年	教科	国語	時期	10月
活用場面	授業			配当時間	45分
目標	「起承転結」の構成に気をつけて、物語を書こう。				
活用シート	<p><学習の流れ></p> <ul style="list-style-type: none"> ●国語の教科書単元「お話のさくしゃになろう」を学習した際、深化問題として活用することとした。 ●2年生では今までに文章を「はじめ・中・おわり」に分けて読み取ったり書いたりすることを学習しているが、今回はさらに「中」の部屋（段落）を2つに分けること、そしてそれを「起承転結」ということを説明した。 ●3つの絵から自分の書きたい絵を選び、「お話の作者になろう」と同じく、中心人物、山場などをまず考えさせた。 				
工夫した点	<p><工夫した点></p> <ul style="list-style-type: none"> ○物語に関する既習事項「登場人物」「中心人物」「設定」「山場」「あと話」などを再度確認した。 ○段落ごとに何人かが全体に発表するなどして、書きにくい児童のヒントとなるようにした。 				
成果や改善点	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ●教科書単元の延長として活用したので、「書く力」を伸ばすことにつながったように感じる。 ●絵があることでお話を想像しやすくなり、それぞれに個性的な話を書くことができた。 ●「順序を表すことば」なども既習を活用できるつくりになっていたため、学習に適していた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「そして、」などの読点のあとに続けて書いていくことを指示するのが遅れたため、改行して書き始める児童がいるなど、作文のルールを徹底できなかった。 ○書き終わるまでの時間に差が出た。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

起
ある日、わたしは、空くびが来たので、わたしの家へ遊びに来ました。

承
空くびは、わたしに「お話を聞かせてね」と言いました。わたしは、空くびに「お話を聞かせてね」と言いました。

転
空くびは、わたしに「お話を聞かせてね」と言いました。わたしは、空くびに「お話を聞かせてね」と言いました。

結
空くびは、わたしに「お話を聞かせてね」と言いました。わたしは、空くびに「お話を聞かせてね」と言いました。

起
ある日、わたしは、空くびが来たので、わたしの家へ遊びに来ました。

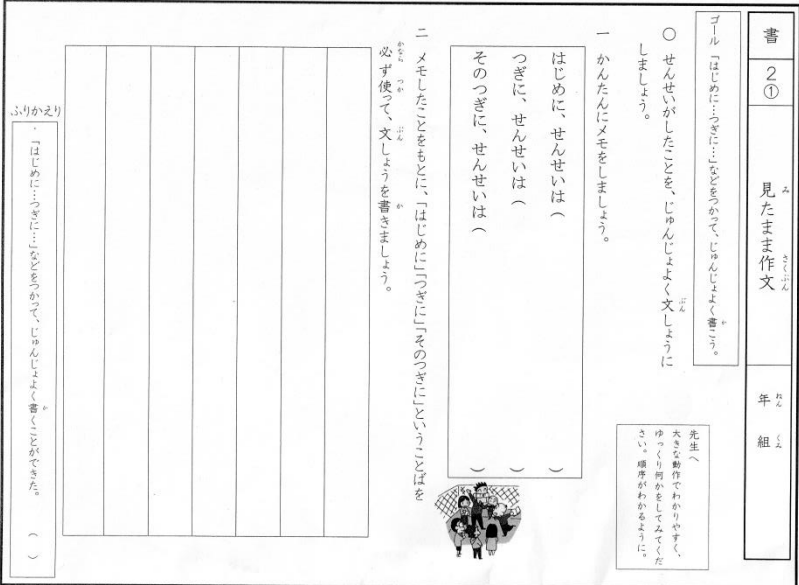
承
空くびは、わたしに「お話を聞かせてね」と言いました。わたしは、空くびに「お話を聞かせてね」と言いました。

転
空くびは、わたしに「お話を聞かせてね」と言いました。わたしは、空くびに「お話を聞かせてね」と言いました。

結
空くびは、わたしに「お話を聞かせてね」と言いました。わたしは、空くびに「お話を聞かせてね」と言いました。

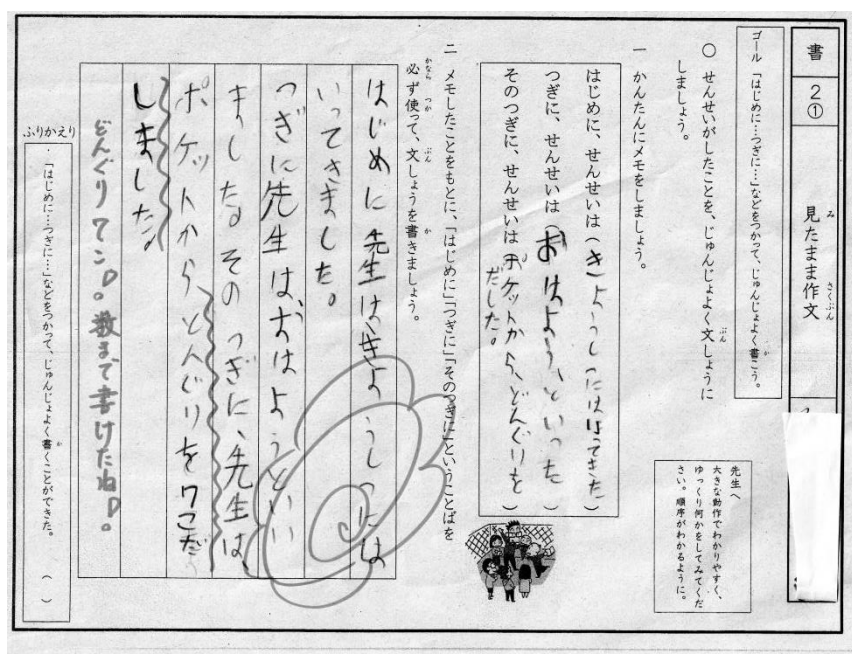
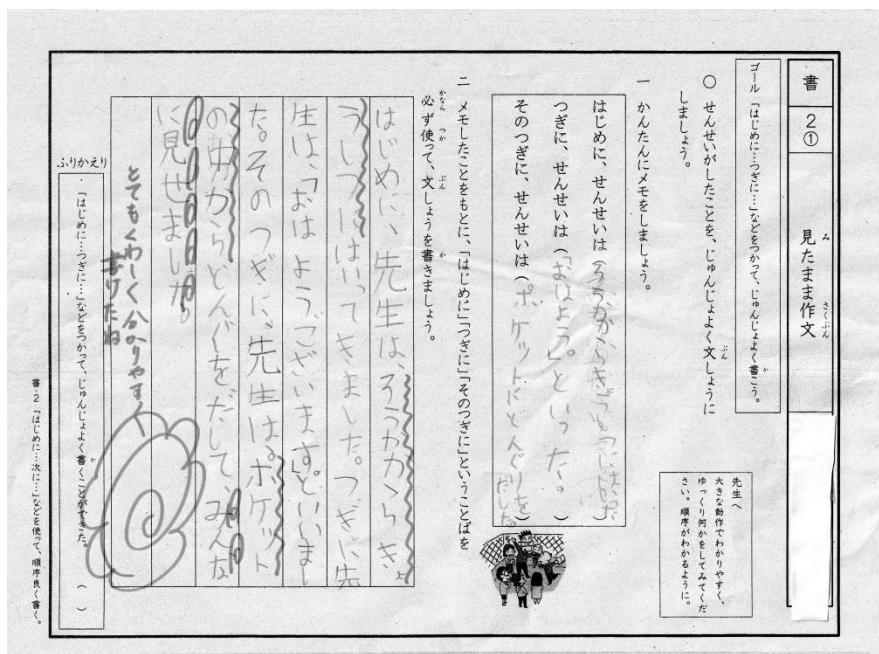
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【泉佐野市立末広小学校】

活用シート名	②見たまま作文			基になった活用シート名	書2① 見たまま作文
学年	小学校2年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（展開）			配当時間	45分
目標	「はじめに」「つぎに」「そのつぎに」をつかって、作文を書こう。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●国語「しかけカードの作り方」の教材に入る前に順序立てた説明を書く練習をした。 ●メモから作文にする際には、文末に気をつけるよう指導した。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●「先生の大きな分かりやすい動作」を「はじめに」「つぎに」「そのつぎに」のつなぎ言葉で書き表すという、児童全員が取りくみやすい教材である。 ●一のメモを書いた後、書けていることは確認したものの、書いた内容の発表はせずに、二の作文にすぐうつった。そうすることで、児童一人ひとりのとらえ方の違う作文が出て、おもしろかった。 ●ペアで発表し、その後全体で発表し、お互いの工夫した部分を確認することができた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

- ・友だちの見たまま作文の発表を聞き、「なるほど」「〇〇さん、くわしく書けているね」「どんぐりのことをくわしく書けていて、おもしろい」などの発言が聞けた。
- ・文章を書くための一定の型が示されていて書きやすく、それに加えて自分なりに工夫して書ける余地が残されているので、どの子も意欲的に取り組み、友だちの工夫も見つけることができていた。

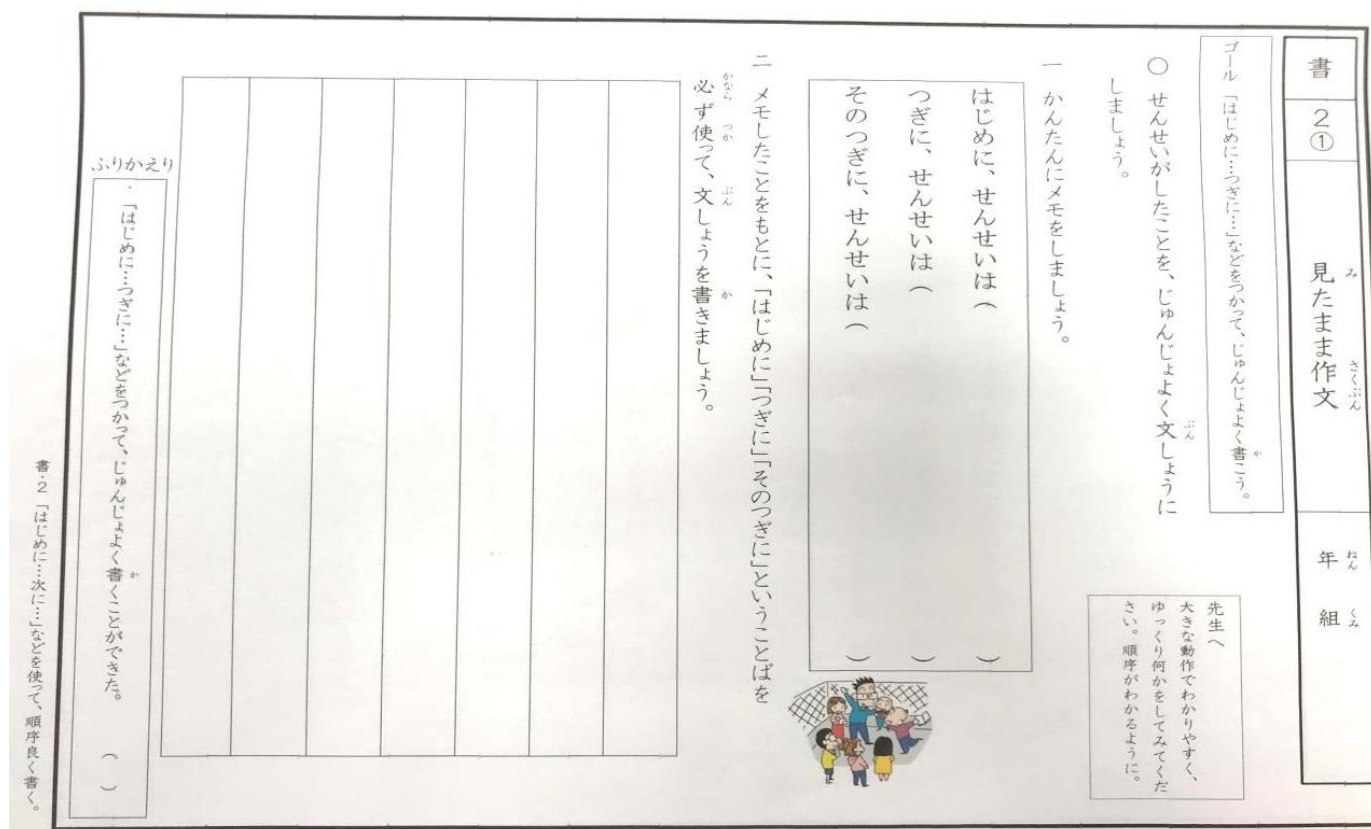


「ことばのちから」活用シート 活用事例

【泉南市立鳴滝小学校】

活用シート名	⑳ 「見たまま作文」			基になった活用シート名	書2① 見たまま作文
学年	小学校2年	教科	国語	時期	7月
活用場面	国語の授業			配当時間	1時間
目標	・つなぎ言葉を使って、見たものをそのまま文章にすることができる。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生に動作を3つしてもらい、その順番に文章をつくることにした。子どもたちは、動きを細かくよく見て、書いていた。 ●一度練習をして、説明の見本を提示してから、活用シートを使うようにした。 ●活用シートは提供していただいた、そのまま使った。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●服の色やくつの種類など、必要のない部分を書いている子どもがいた。 ●先生の表情や手の動きなど、細かい部分を見ることができていた。 ●友だちの書いたものをペアや学級全体で共有し、同じ動作を見ていると違いかたちで表現することもあると知れた。 				

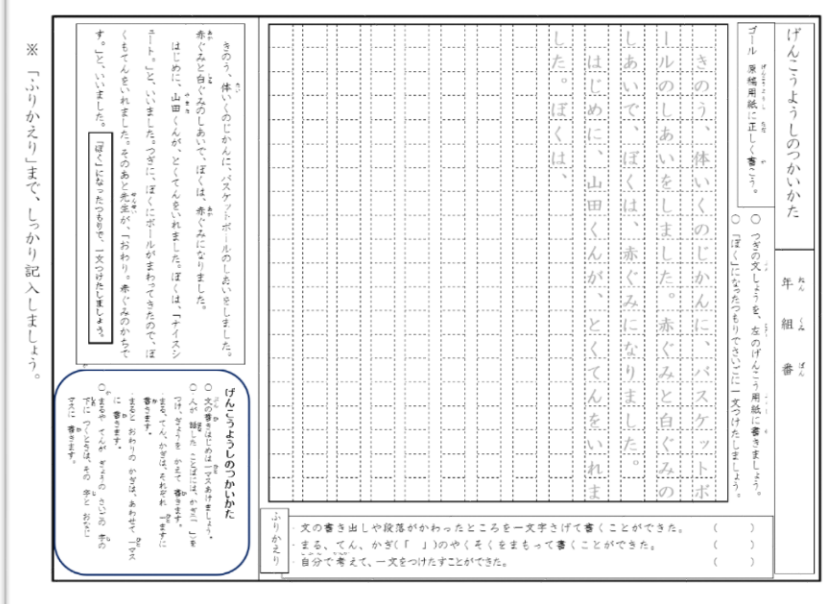
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



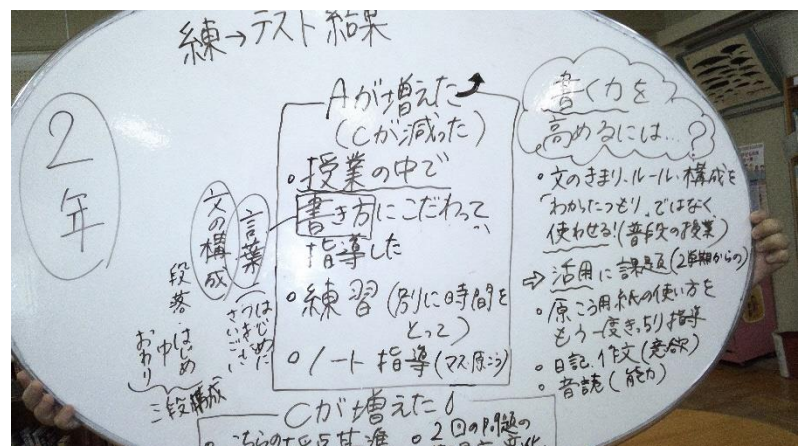
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【箕面市立豊川南小学校】

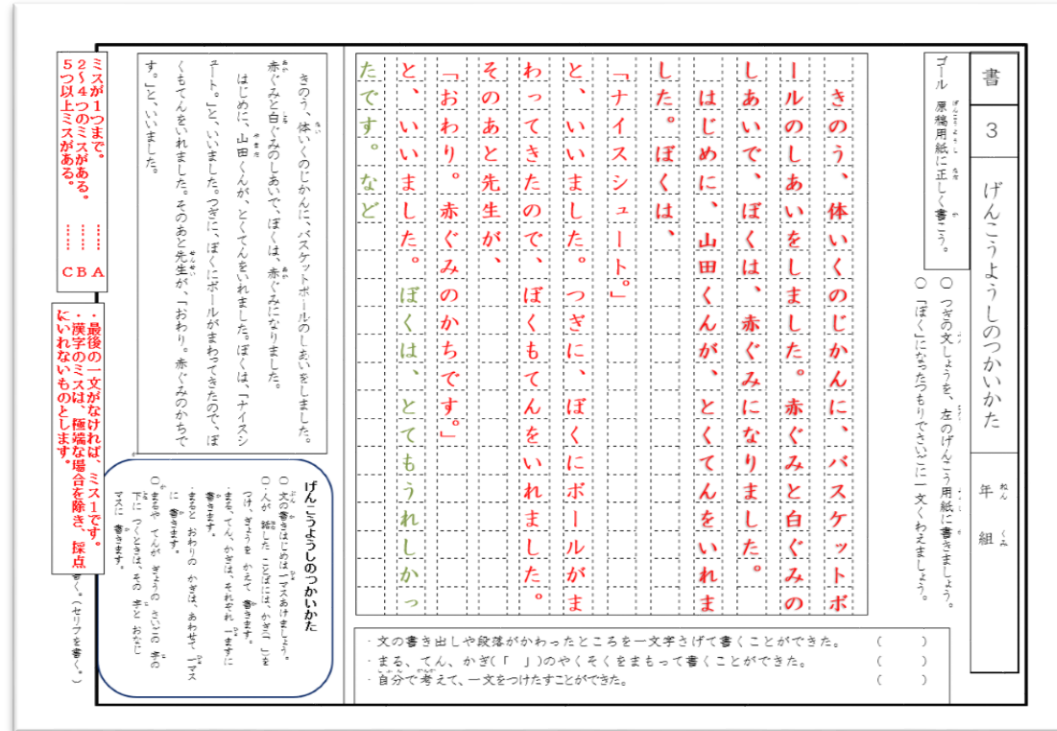
活用シート名	㊸原稿用紙のつかい方			基になった活用シート名	書3 げんこうようしのつかいかた
学年	小学校2年	教科	国語	時期	5・6月
活用場面	授業 授業改善			配当時間	2
目標	2つのグラフをもとに考え、自分の意見を記述することができる。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ● 活用方法 <ol style="list-style-type: none"> 1. 朝の学習時間や授業時間を使って、ワークシート（練習）に取り組んだ後、担任が回答例を見て採点をする。 2. 採点后、学級の傾向をつかみ、書く力をつけるように意識し、普段の授業に取り組む。※国語の授業に限らない 3. 2～3週間後に挿絵を変えた同系統のテストに取り組む ● 事前に学年の先生や、国語の研究部会のメンバーと相談し、2年生の学習状況を確認したうえで、どの程度薄墨書きしておくかを検討した。 ● 採点を学年ごとに同じ机で行い、傾向や課題などを洗い出す形態をとることで、共有を図った。 ● 4段階の評価（実質3段階）とし、あらかじめ解答例を提示することで観点を明確にしたことで、採点時間を短くするように努めた。 ● 採点を4段階（実質3段階）に分けた ● 練習プリントと同様に書き出し薄墨印刷しておくことで、全員が書き始められるようにした。 ● 練習ではかぎ（「」）のつかい方を薄墨印刷したので、テストでは印刷せずに書いているかどうかをみとるものとした。 ● ただ書き写すだけでなく、さいごの1文は自分で考えて書くようにした。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段の授業の中に「書く」力を伸ばすための視点を取り入れる大切さや、現状把握（児童の成果と課題）の大事さを共有することができた。 ● 研修という形をとったことで、学年間にとどまらず、縦の系統性をつかみ、指導に活かす視点を持つことができた。 ● テストでは「」のつかい方も自分で考えて書かないといけないなど、難易度を上げたことで、学年全体では、C評価が20%から37%に増える結果となった。一部好転したクラスはあったものの、普段の授業で原稿用紙の使い方を意識して指導することや、書く力を伸ばすことの大切さを担任が改めて実感することができた。 				



子どもの様子（発言やノート、板書、解答例、写真 等）

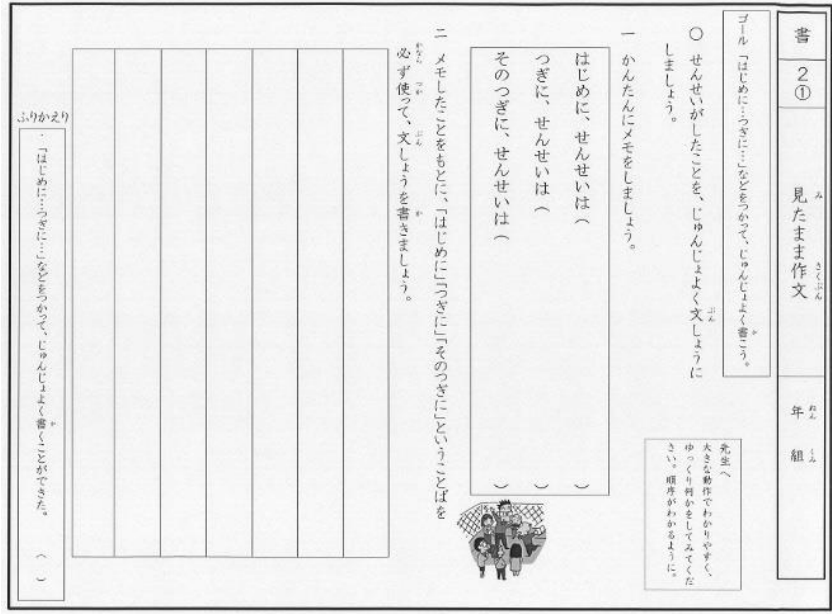


担任による、分析と共有



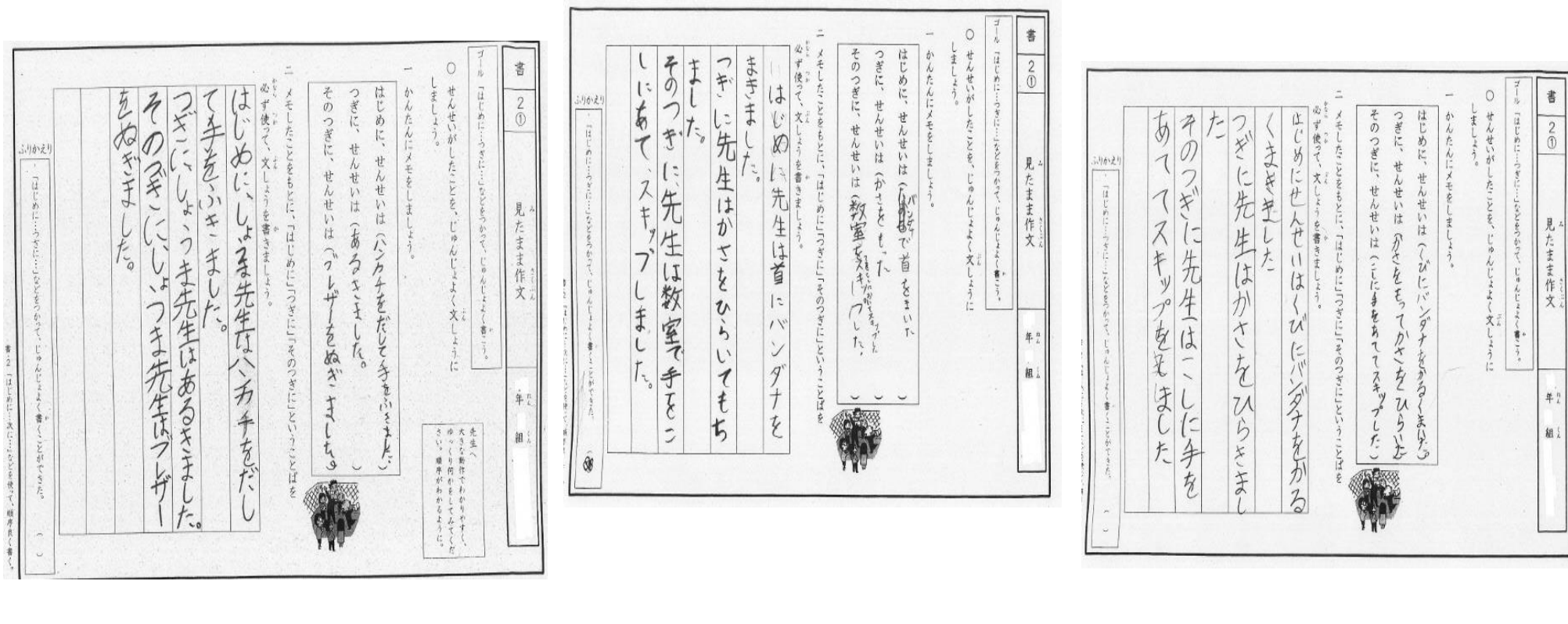
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【岸和田市立大芝小学校】

活用シート名	②5 見たまま作文			基になった活用シート名	書 2① 見たまま作文
学年	小学校 2 年	教科	国語	時期	11 月
活用場面	授業			配当時間	2 時間
目標	「はじめに・・・つぎに・・・」などをつかって、じゅんじょよく書こう。				
活用シート 工夫した点	 <ul style="list-style-type: none"> ・「今から3つの動きをするので、指を折りながら数えましょう。」と指示し、動作に注目させる。 ・声を出さないように、見させる。 ・作文に書く時の注意点 <ul style="list-style-type: none"> ○「つぎに・・・」と書く時、改行し、1マス下げて、段落を意識させる。 ○文末は「・・・ました。」など、丁寧な終わり方にさせる。 ・ふりかえりとして、数人に書いたものを読ませる。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの動作を見るように指示しているので、無理なくメモを書くことができた。 ・児童に先生役をさせて、繰り返し練習させる。 				

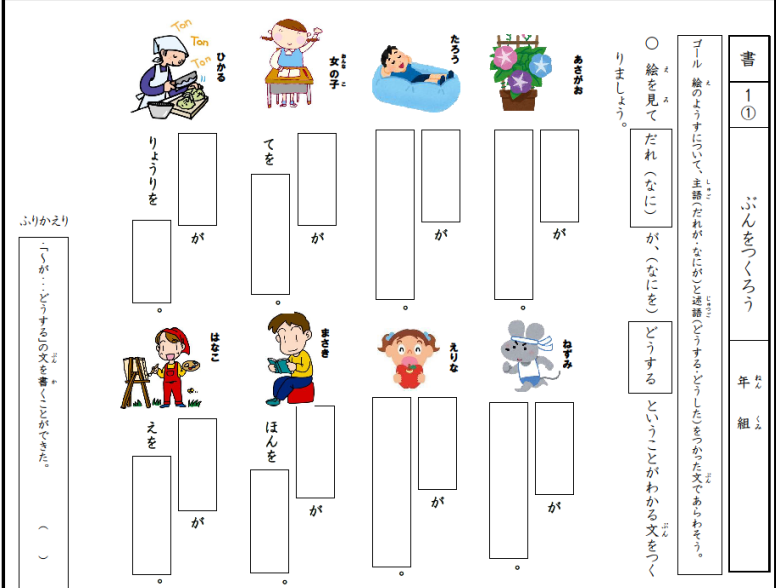
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

【児童のワークシート】

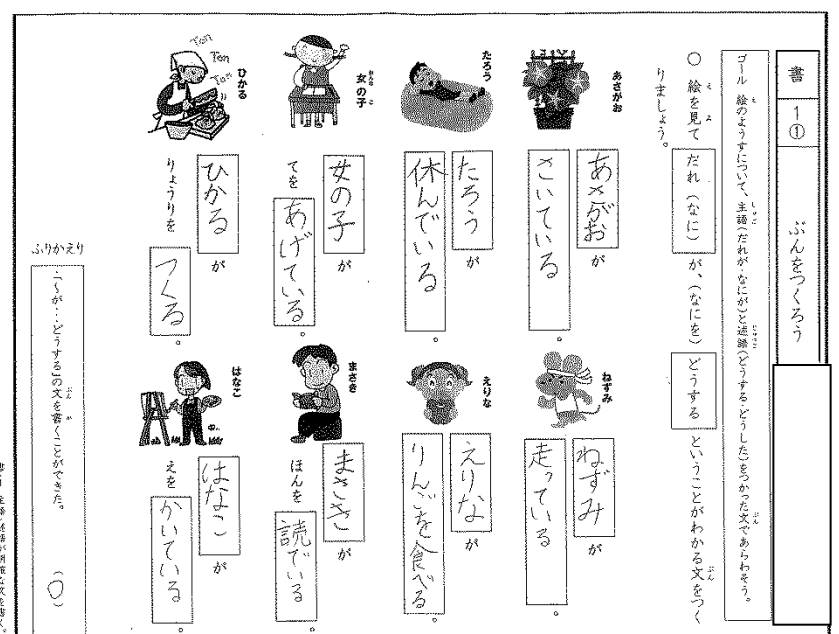


「ことばのちから」活用シート 活用事例

【阪南市立朝日小学校】

活用シート名	②6ぶんをつくろう			基になった活用シート名	書1① ぶんをつくろう
学年	小学校2年	教科	国語	時期	11月下旬
活用場面	授業			配当時間	45分
目標	絵を見て、だれが何をすることかわかる文をつくることできる。「主語」と「述語」がわかる。				
活用シート 工夫した点	 <ul style="list-style-type: none"> ●「。」をはじめからつけた。 ●わかりにくい絵を変更した。 ●掲示用絵カードを作った。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●主語と述語がはっきりしているので、指導しやすかった。 ●「何を」があるものとないものがあるので統一した方がわかりやすい。 ●問題に番号があればわかりやすい。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



- 絵を見てかくというシンプルなやり方がわかりやすく、ほとんどの子が書けていた。
- 述語のパターンがいくつか出たのでおもしろかった。